

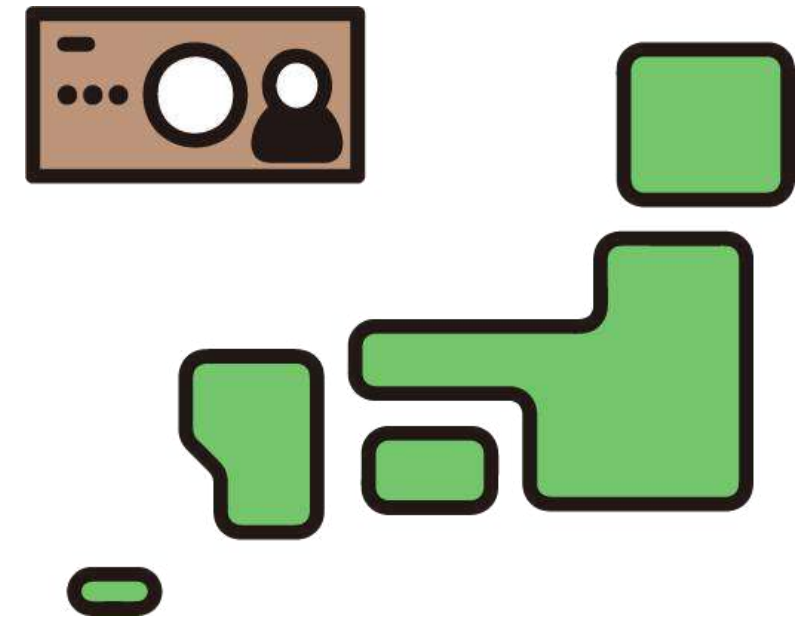
経済教育ネットワーク

春の経済教室

# 公立中学校における 財政×フューチャーデザインの実践

埼玉県宮代町立百間中学校

高橋 克志



# 本日の発表内容

#01 実践について

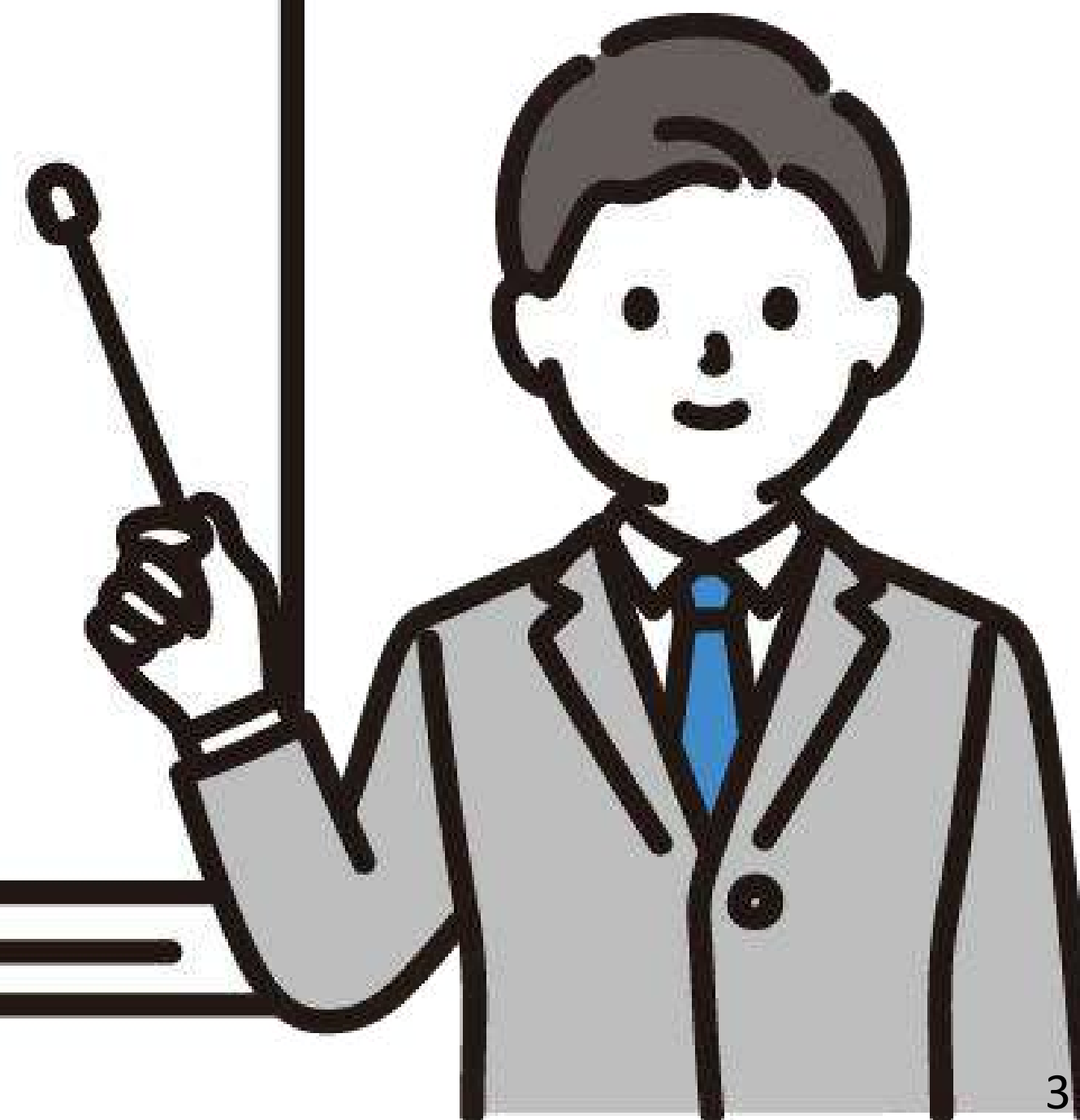
#02 生徒のフューチャーデザイン

#03 成果

#04 課題

#01

実践について



# 未来の人が幸せと感じる社会を作るために 私たちが今考えることは何か？

## 01

私たちの税金はどのようなことに使われているのか？

- ・どんな直接税・間接税が国の歳入になっているのか。
- ・その税金で歳出はまかなえているのか。国の借金は今どのくらいなのか。
- ・歳出の内訳、財政の役割を理解する。

## 02

なぜ今も国債は増え続けているのか？

- ・税収が増加しているのに国の借金も膨らんでいるのはなぜか。
- ・社会保障の4つの柱を理解する。少子高齢化の対策として、介護保険制度、後期高齢者医療制度を理解する。

## 03

あなたは、今後の日本を考えてどんな政策をとるか？

- ・社会保障の財源として消費税がなぜ使われるか。
- ・日本は主要国と比較して、福祉・負担の度合いを資料から考察する。
- ・これからの給付と負担を考えてどんな政策が良いか。

## 04/05

未来の人が幸せと感じる社会を作るために私たちが今考えることは何か？

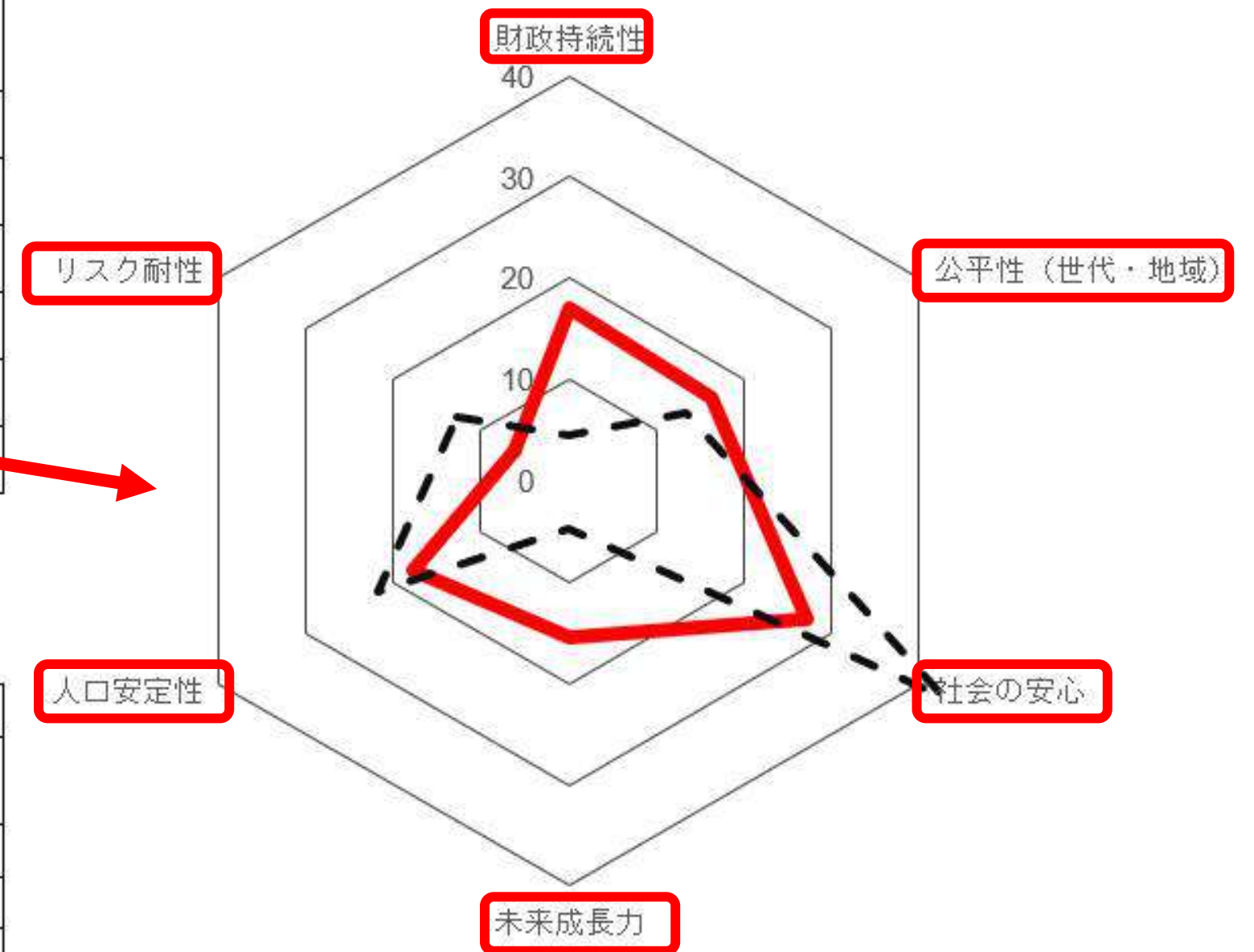
- ・いままでの学習を生かして、未来の人が幸せと感じる社会を作るために財政を設計する。

小単元のまとめ

## レーダーチャートについて

項目	配分(兆円)	理由
社会保障関係費	20.5	
地方交付税交付金	17.8	
防衛関係費	8	
公共事業関係費	3.7	
文教および科学振興費	30	
国債費	20	
合計	100	※その他は今回省略

タイプ	
財政持続性	今だけでなく、将来もお金が回り続ける社会
公平性（世代・地域）	今の人も未来の人も、住む場所がちがっても、一部の人にだけ負担を押しつけない社会
社会の安心	だれでも、困ったときに助けてもらえる安心がある社会
未来成長力	今はまだ見えなくても、将来の力になることに投資する社会
人口安定性	子どもを産み育てやすく、年をとっても安心して生きられる社会を考えること
リスク耐性	災害や大きな問題が起きても、社会がくずれないように備えること



## レーダーチャートの重みについて

項目\軸	財政持続性	公平性 (世代・地域)	社会の安心	未来成長力	人口安定性	リスク耐性
社会保障関係費	0	1	4	1	3	1
地方交付税交付金	2	4	2	1	3	1
防衛関係費	1	2	0	1	0	4
公共事業関係費	3	1	1	0	1	4
文教・科学振興費	4	2	2	4	2	0
国債費	0	0	2	0	0	1

## レーダーチャートの重みについて

### 4 (本質・必須)

👉 その項目が存在する最大の理由。または将来世代にとって不可欠な要素。

### 3 (重点)

👉 常に大きな貢献がある。戦略的に重視すべきポイント。

### 2 (貢献)

👉 明確にプラスの影響がある標準的な評価

### 1 (維持・間接的効果)

👉 最低限の影響、または間接的な効果

### 0 (無・負)

👉 影響がない、またはトレードオフの関係

作業  
1

いままでの学習を踏まえて予算を分配。

作業  
2

- ①未来人からの手紙を読む。
- ②未来人・現在人に分れて財政を設計する。

作業  
3

- ①歳入の割合を考え、自分の意見をまとめる。
- ②未来人・現在人で意見交換。  
それを踏まえて改めて予算配分を考える。

作業  
4

未来人からの手紙に返信をする。  
デザインした社会を手紙形式でまとめる。

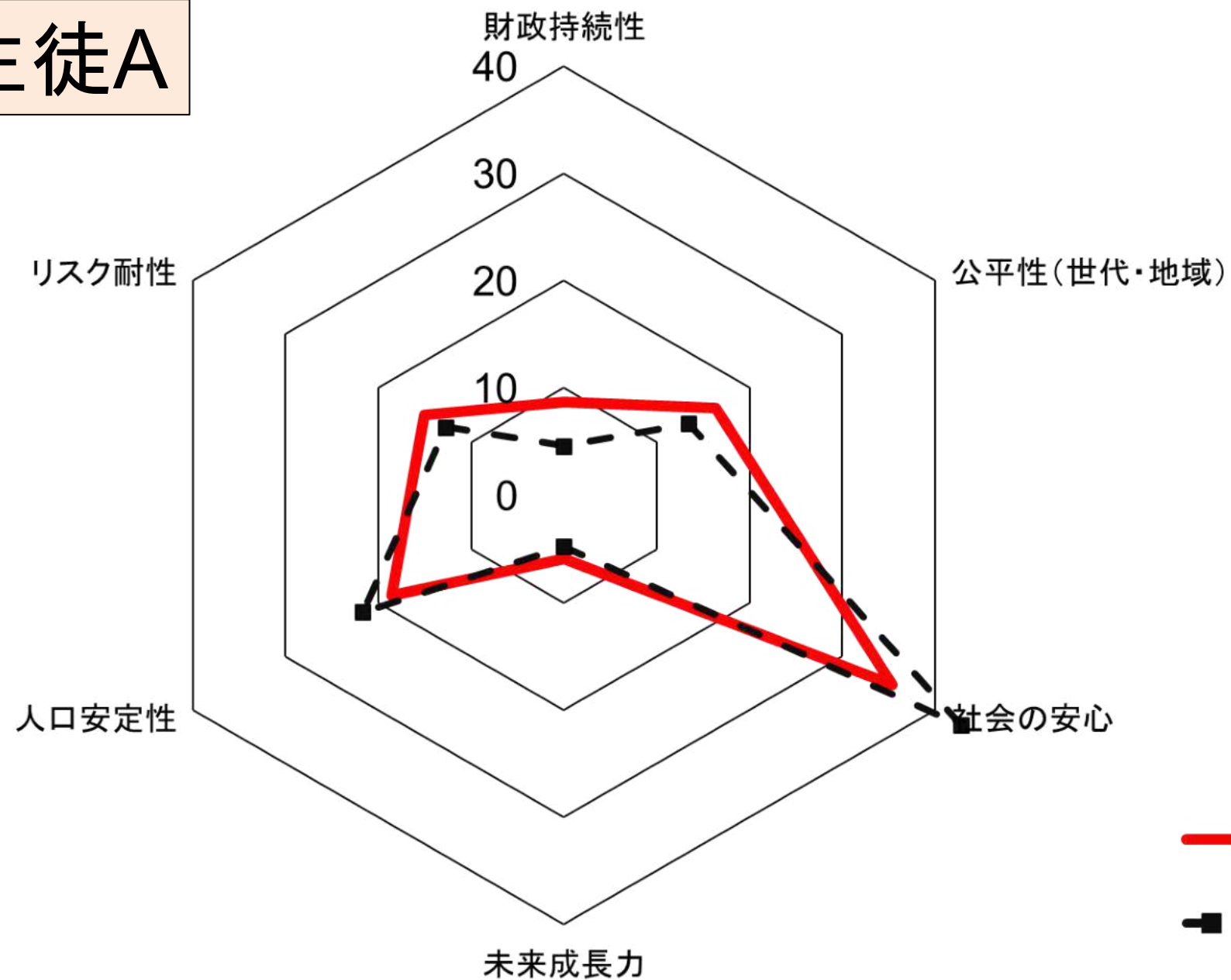
小単元のまとめ

04/05

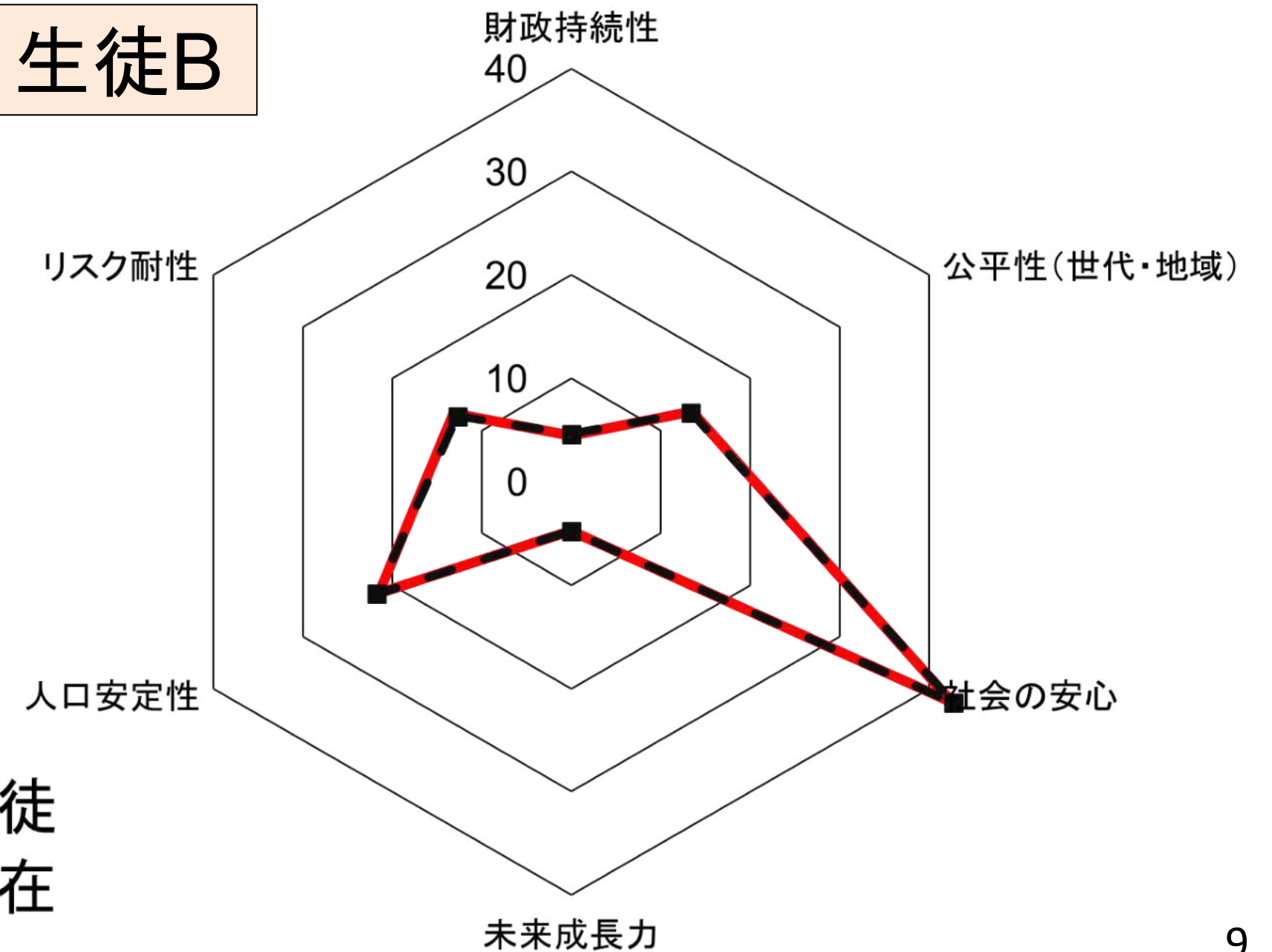
# 作業1 いまままでの学習を踏まえて予算を分配

問い: よりよい社会にするためにどんな予算配分が良いか？

生徒A



生徒B



— 生徒  
- - 現在

## 作業2① 未来人からの手紙を読む

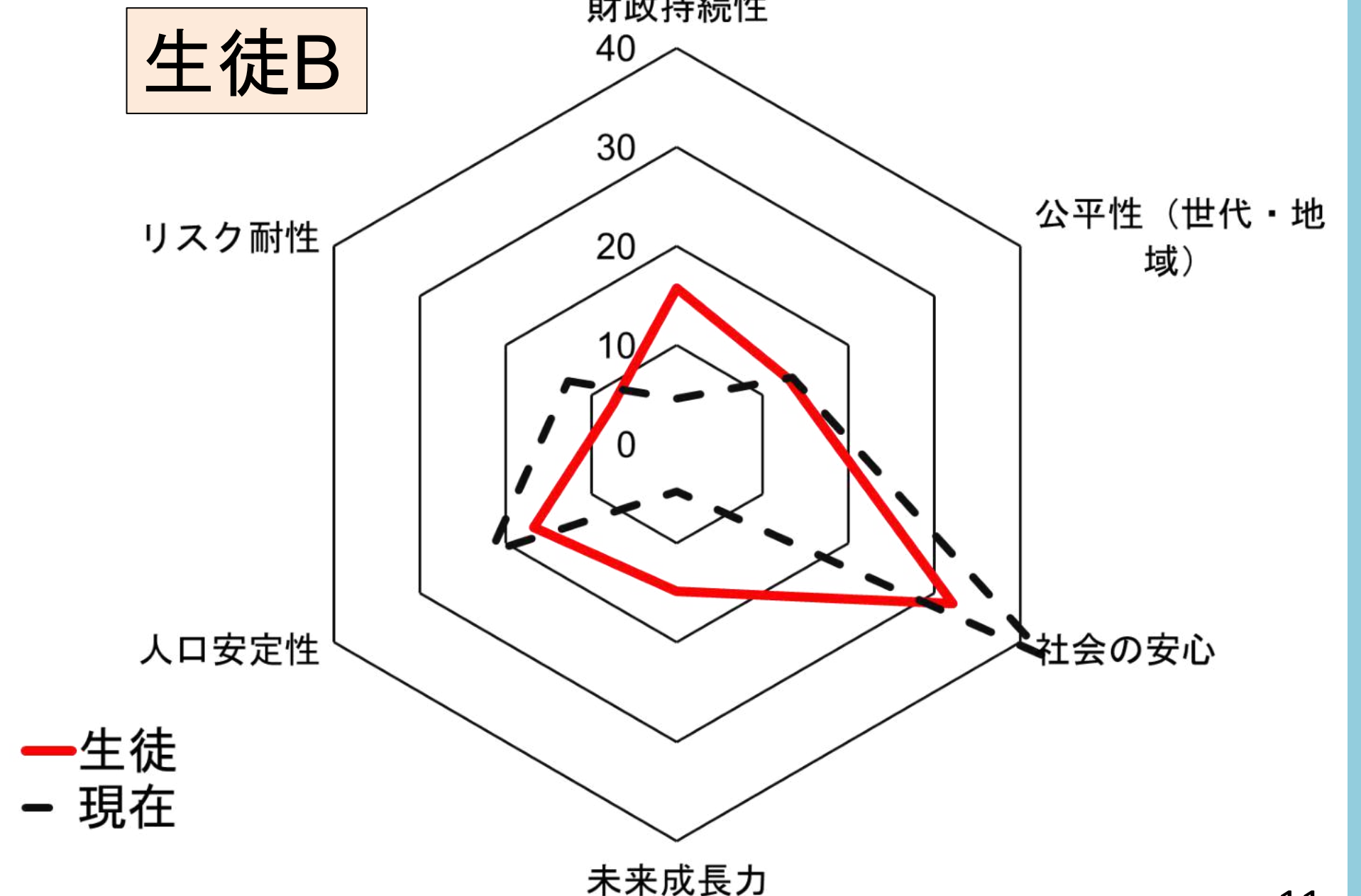
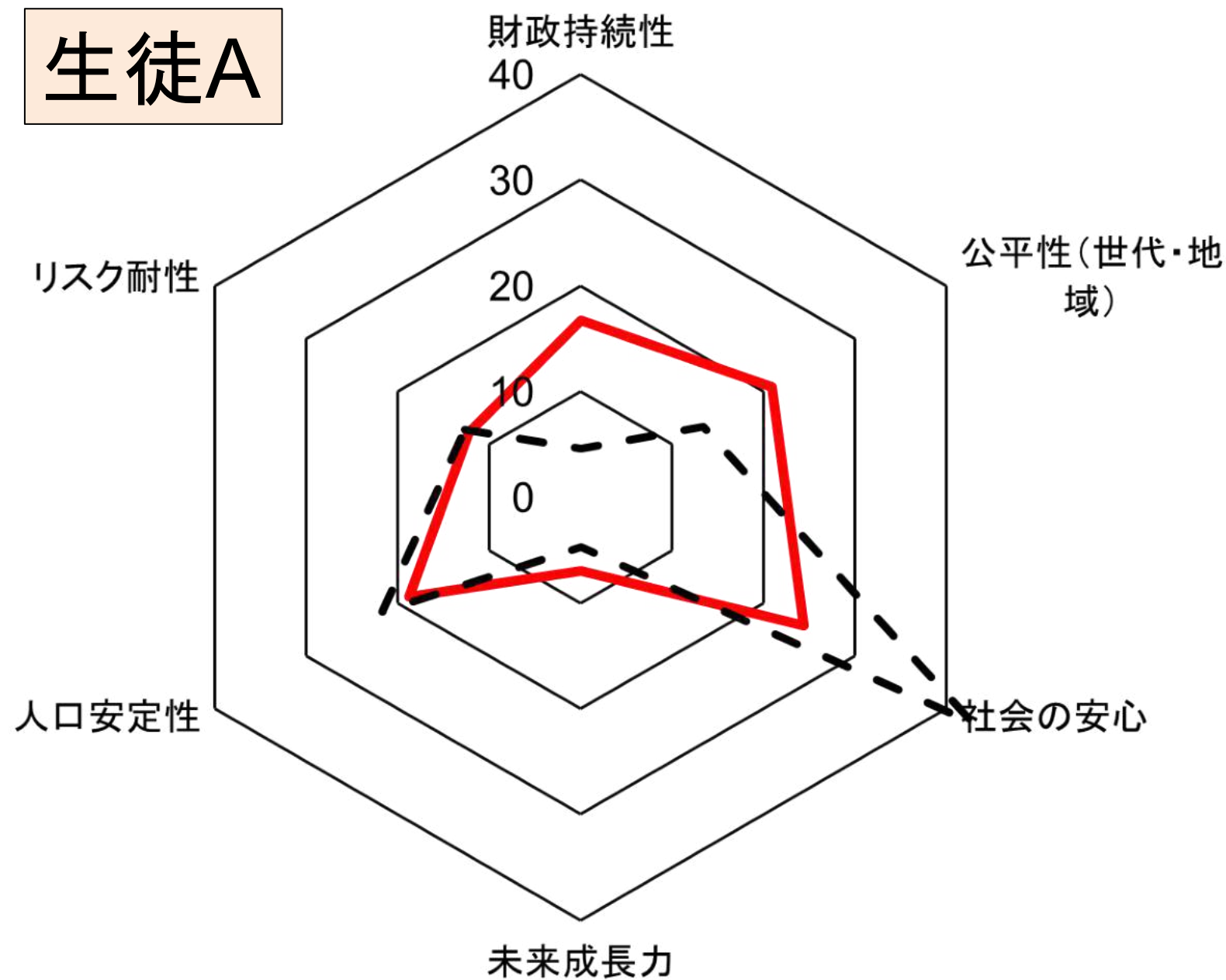
2026年のみなさんへ

2070年には、少子化に歯止めがかからなかったため、人口が8700万人です。それによって、若い世代に負担が増え、地方では消滅危機に陥る自治体もあります。さらに働き手の不足などで日本経済は世界から置いてきぼりになってしまいました。国の借金も膨大です・・・。

そこで、よりよい未来になるように国の財政を設計してください。みなさんのこども・孫世代が幸せに暮らせる日本を考えてみませんか？

# 作業2② 未来人・現在人に分れて財政を設計する

問い: よりよい社会にするためにどんな予算配分が良いか？



# 作業3① 歳入の割合を考え、自分の意見をまとめる

私は将来を考え、予算を

文教および科学振興費

と

社会保障関係費

多く支出するのがよいと考えました

私のデザインしたタイプは

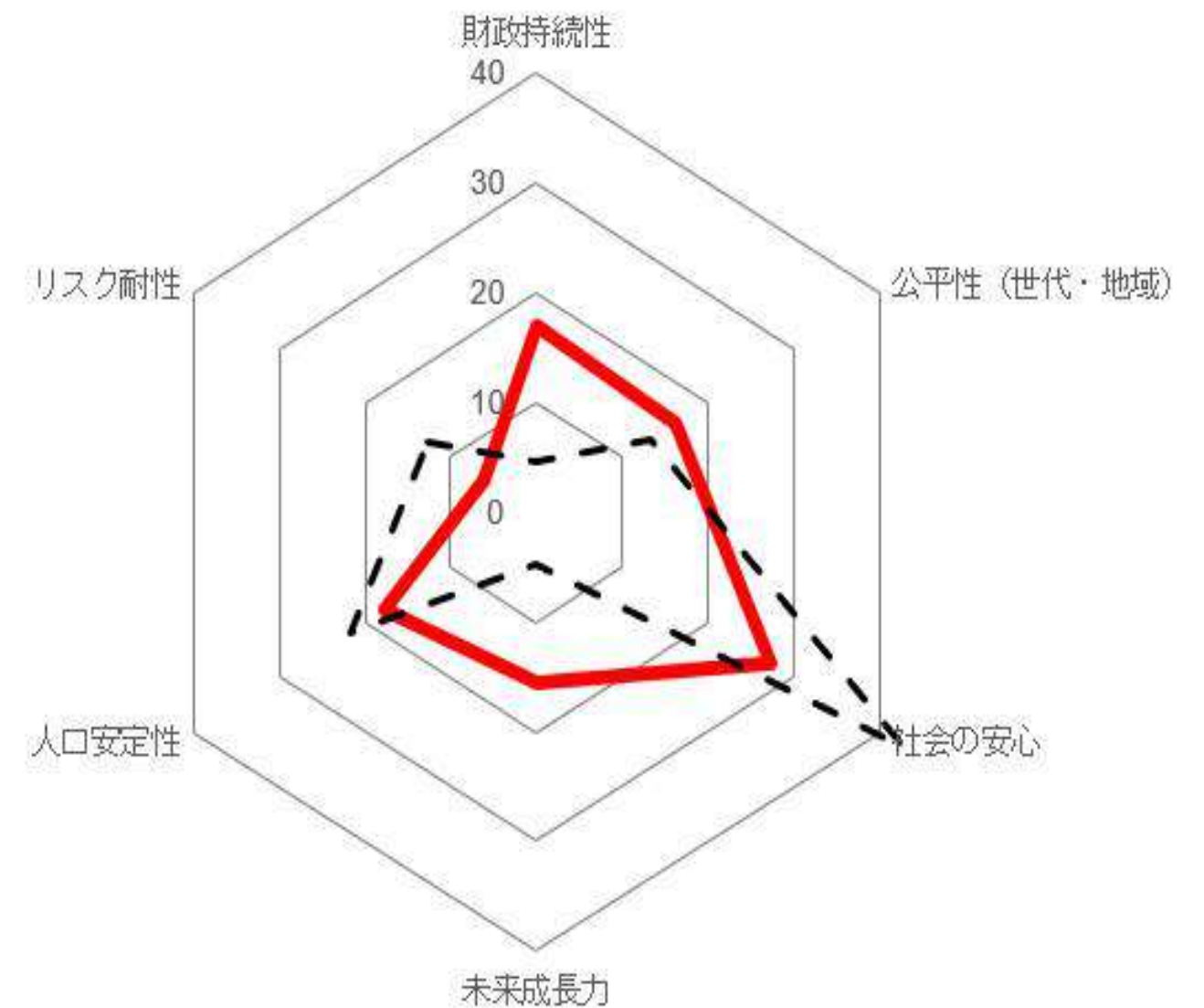
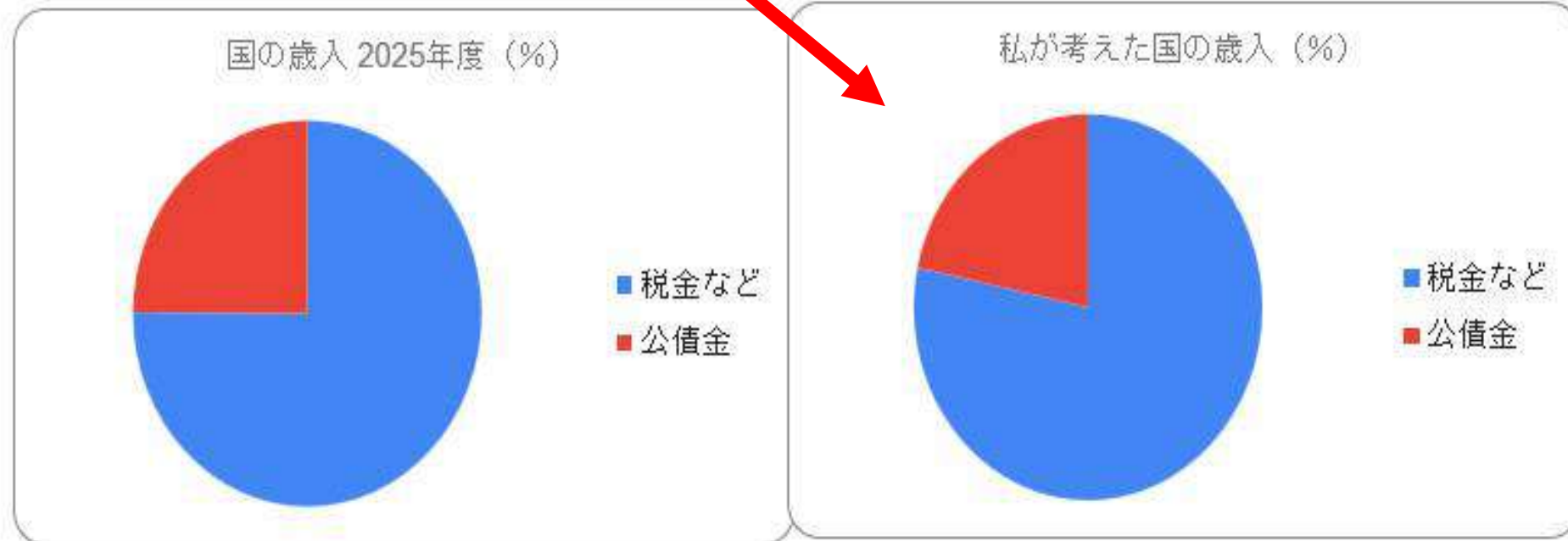
社会の安心

型です。

※ だれでも、困ったときに助けてもらえる安心がある社会

私は将来を考えて財政の歳入は次の割合がよいと考えます。

	(%)
税金など	78.3
公債金	21.7
合計	100



# 作業4 未来人からの手紙に返信をする。 デザインした社会を手紙形式でまとめる。

未来の人へ

日本は、これから

という問題を抱えていると考えました。

その問題を少しでも小さくするために、

私は

を一番大切にしたい

という社会を私なりにデザインしてみました

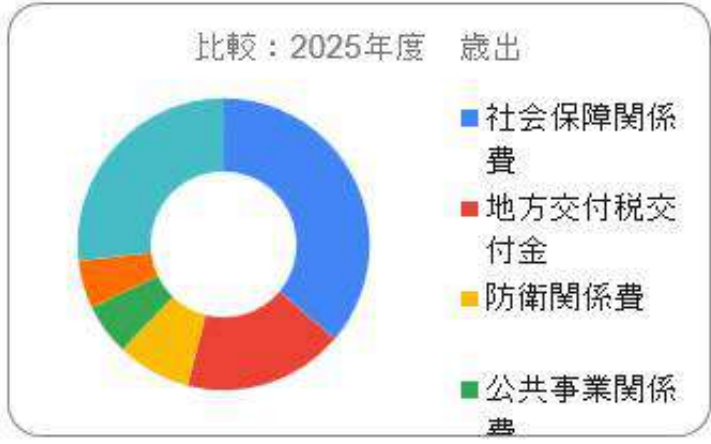
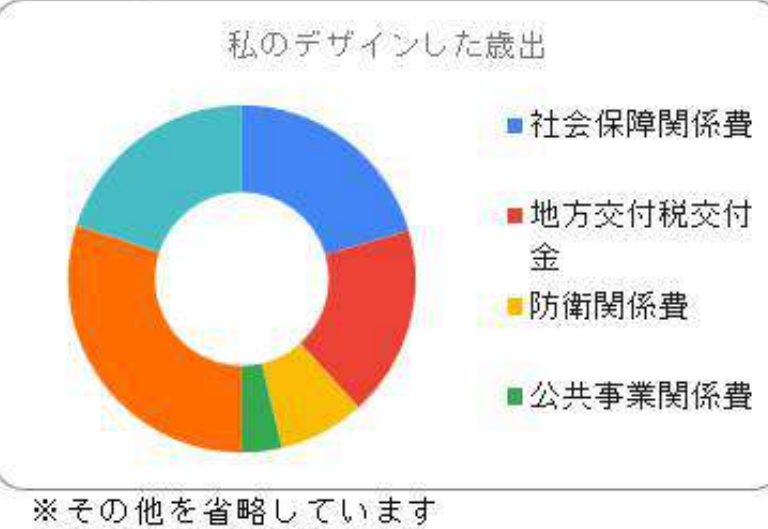
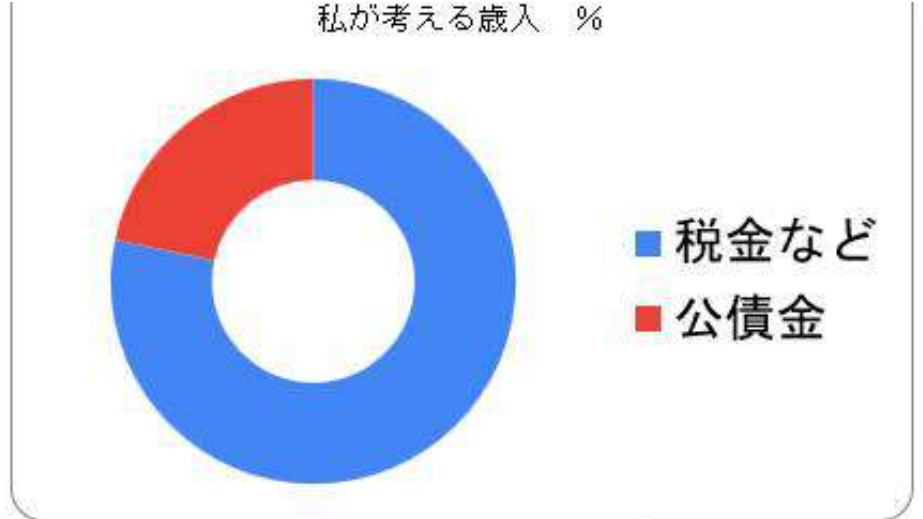
そのために、私たちは

は選び

は我慢します。

完璧ではないけれど、私がデザインした社会で、あなたたちの暮らしが

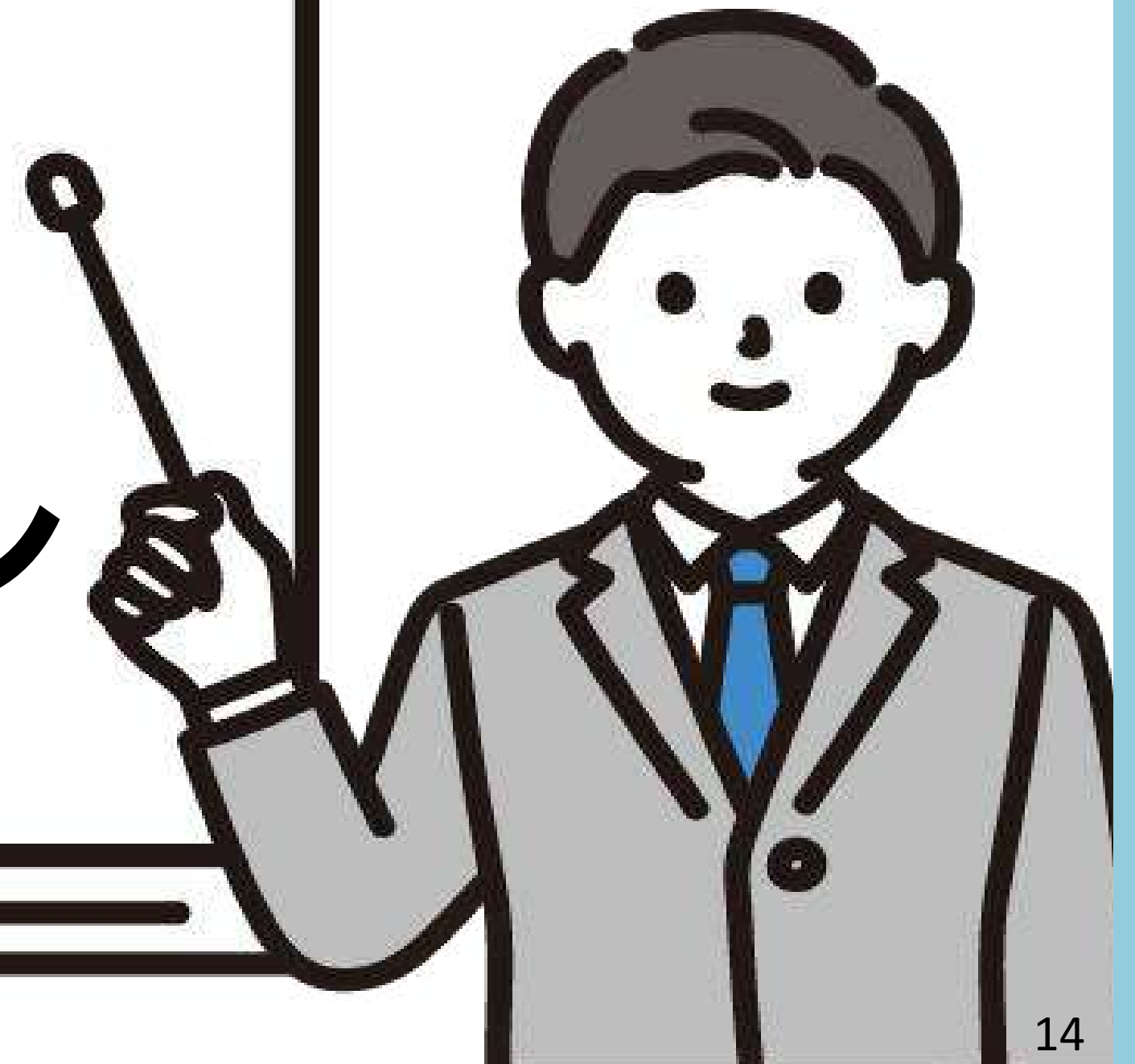
ことを願っています。



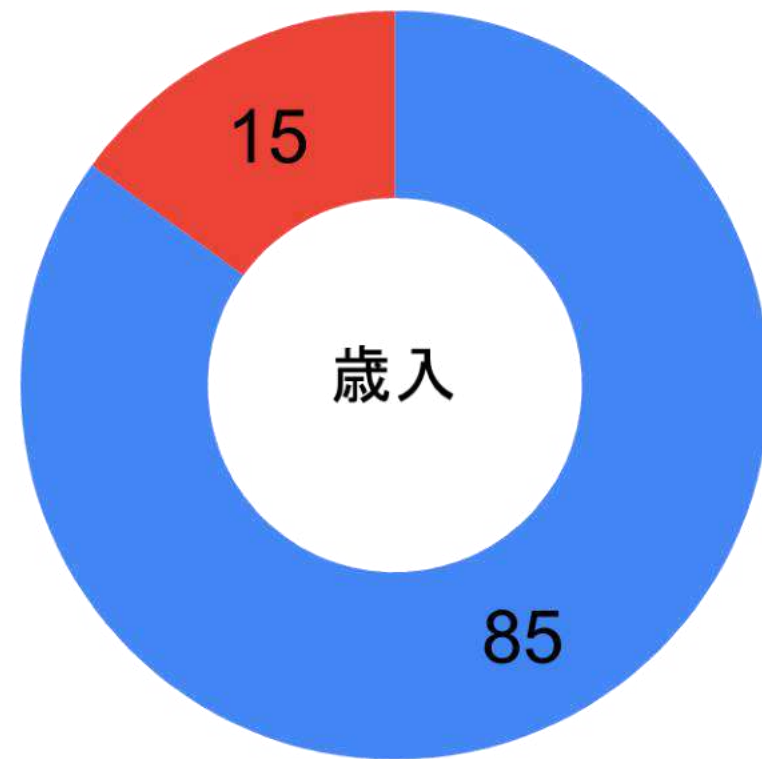
#02

生徒の

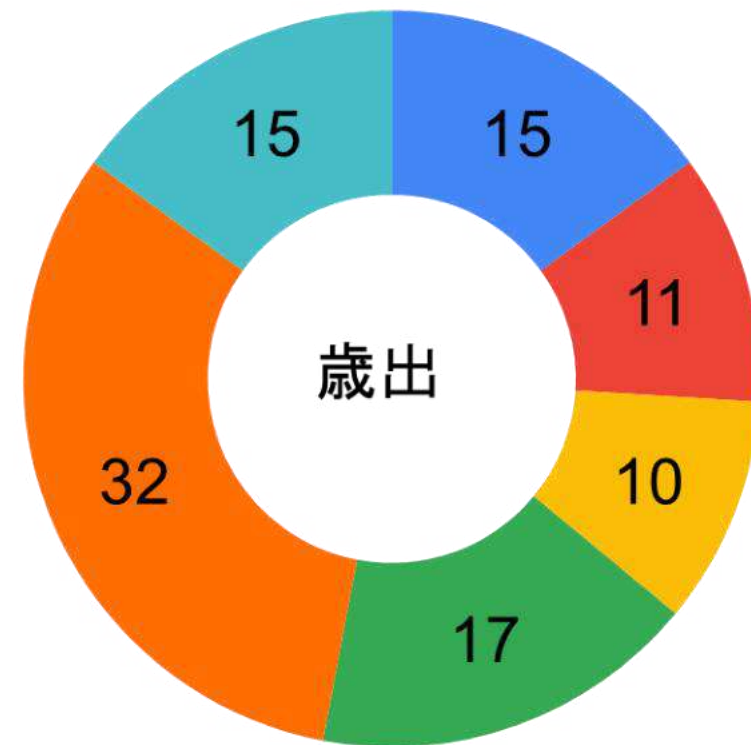
フューチャーデザイン



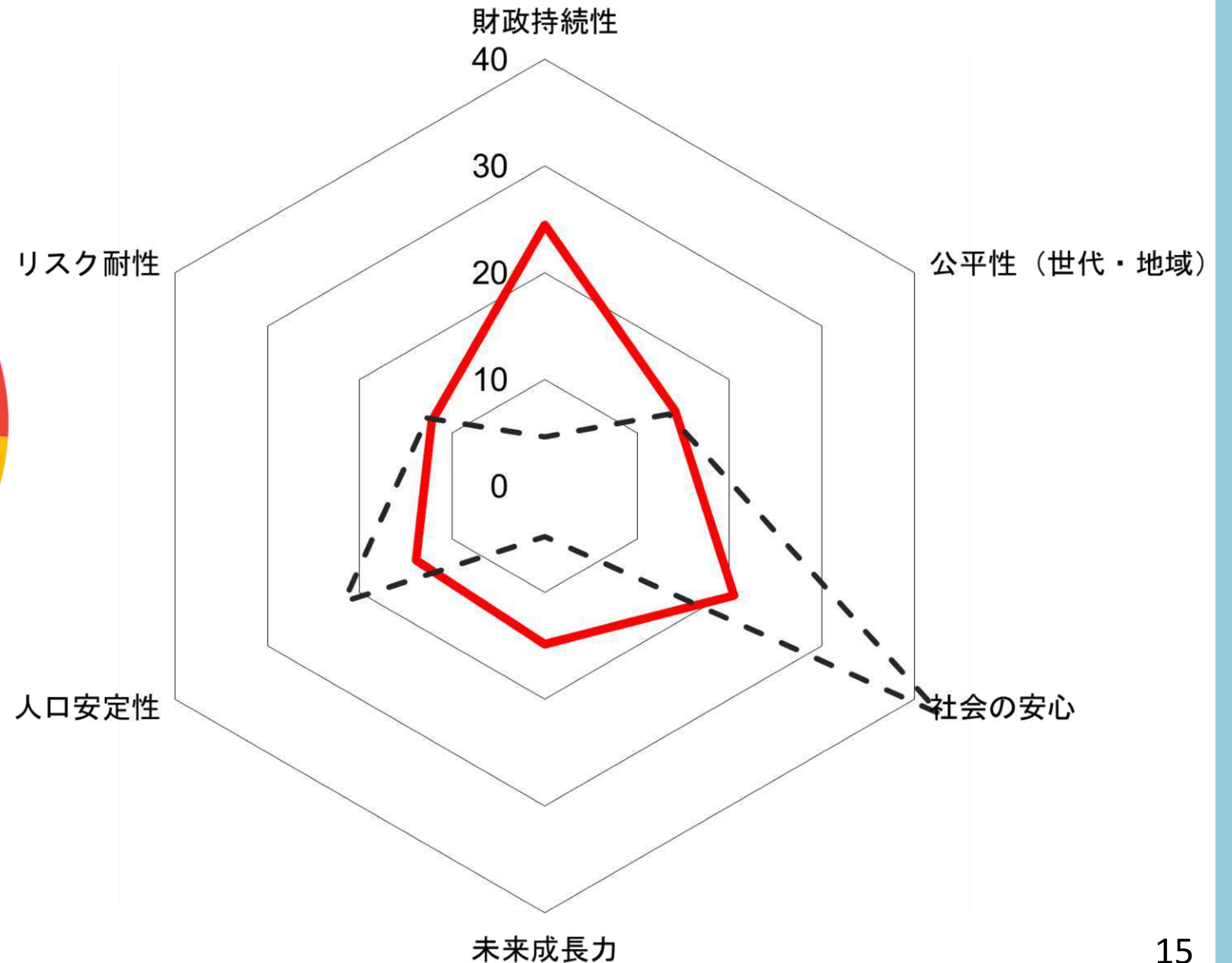
# 今だけでなく、将来もお金が回り続ける社会



■ 税金など ■ 公債金



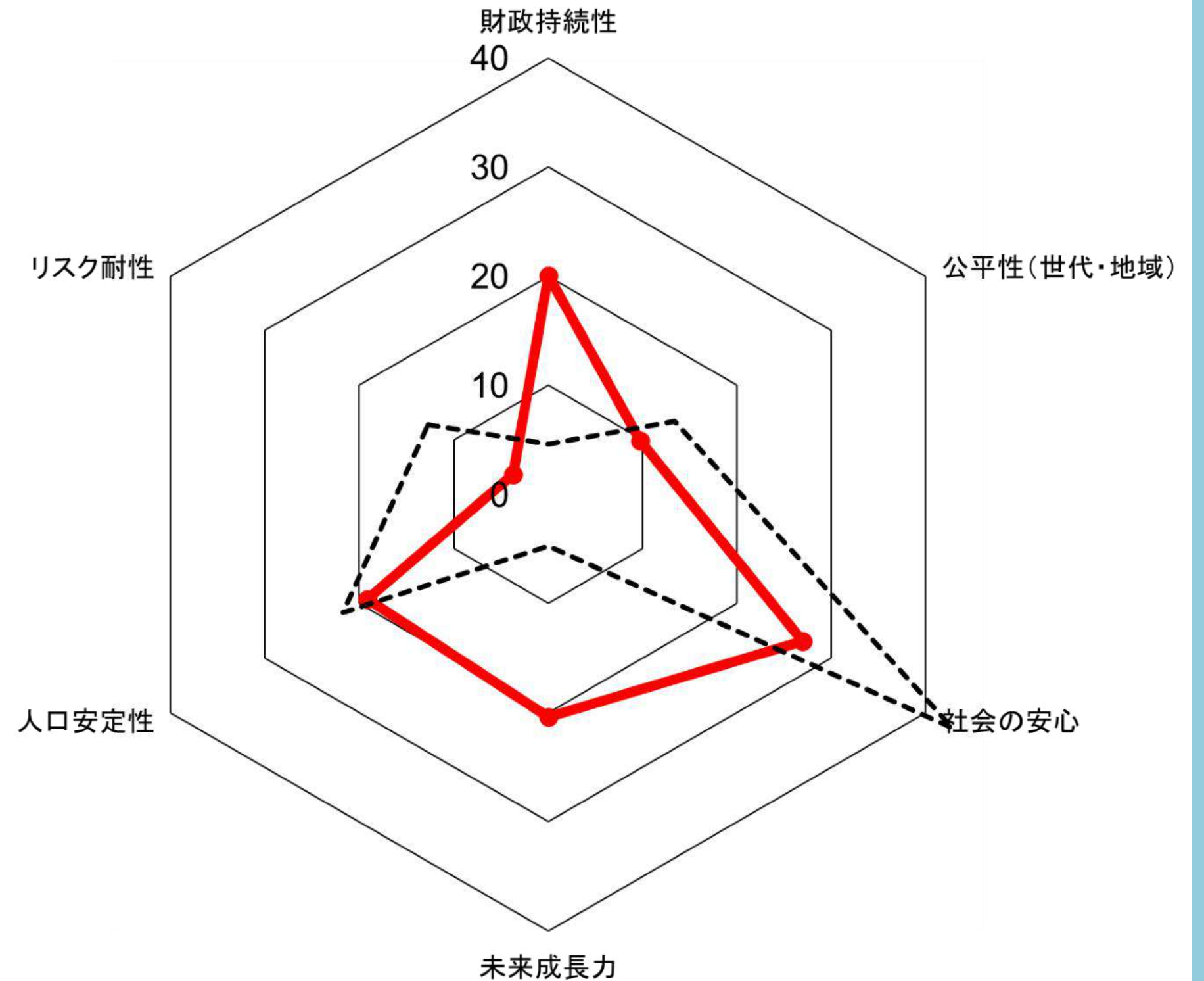
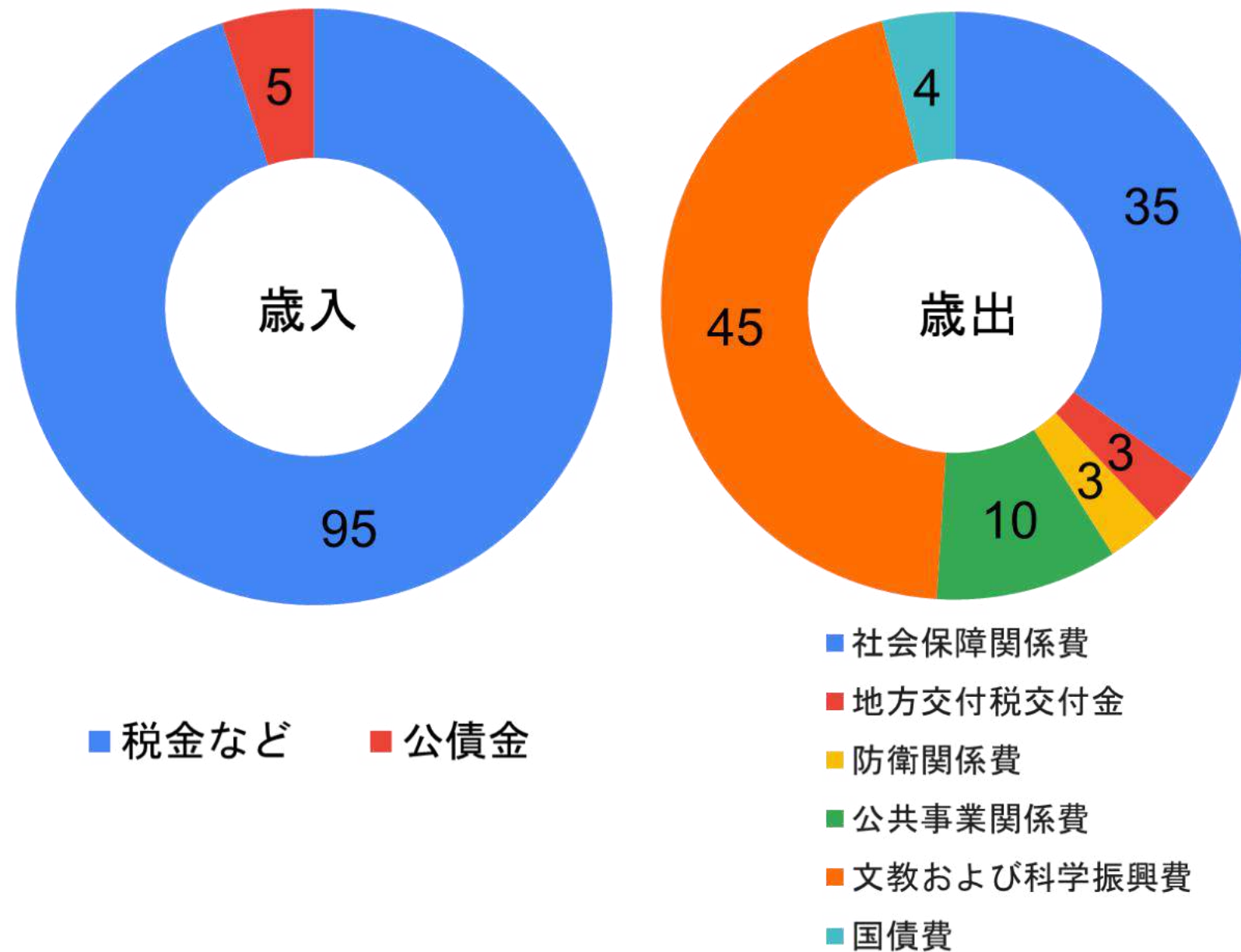
■ 社会保障関係費  
■ 地方交付税交付金  
■ 防衛関係費  
■ 公共事業関係費  
■ 文教および科学振興費  
■ 国債費



## 今だけでなく、将来もお金が回り続ける社会

公共事業に投資をすることで好景気になることによって増税をし、少しでも社会の安心があるようにしたいと思いました。また、財政持続性を増やすことによって、長期的に政治を安定させ、未来の人に負担をかけないようにしたいと思いました。私たちの社会の安心が減ってしまうが、将来は、お金が回り続ける社会になることを願っています。

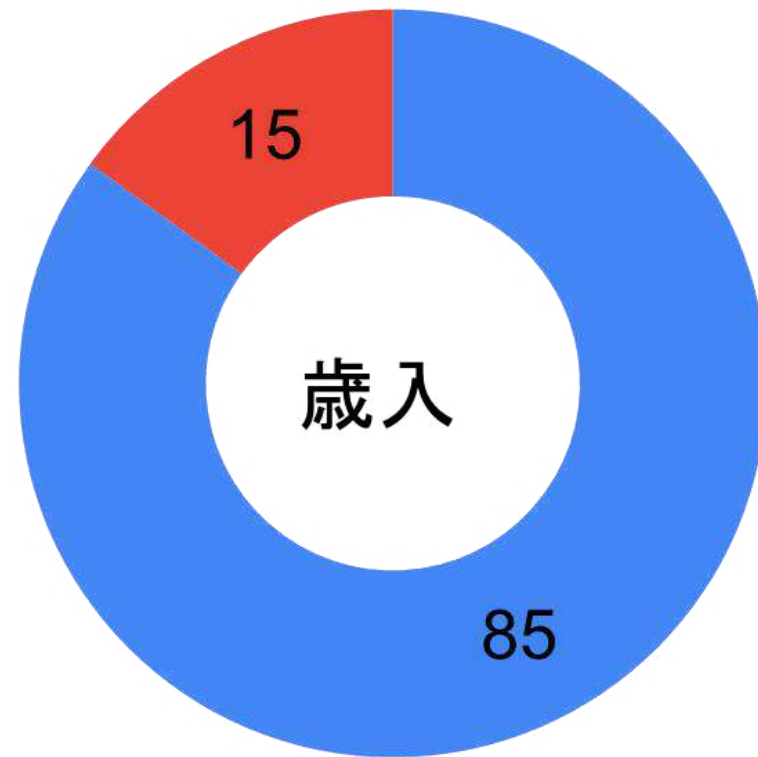
# 現代のことだけを考えない未来成長型社会



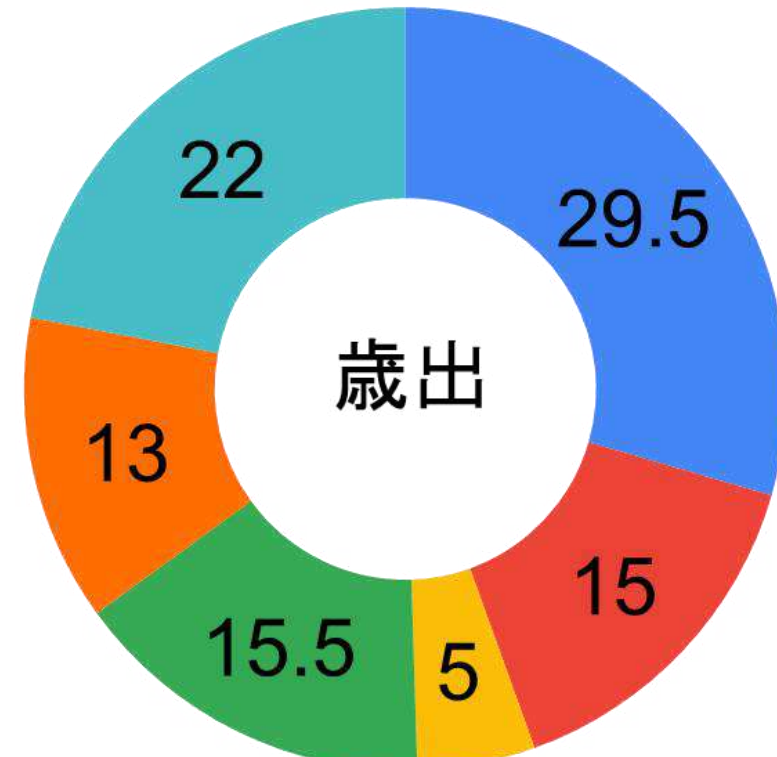
## 現代のことだけを考えない未来成長型社会

私たちは、自然災害が起こったときのリスク耐性は少なくしました。そのかわり、文教および科学振興費に重点を置きました。若者だけの負担が増えることのない、また現代の人のみじゃなく、未来の人が豊かに暮らせること。そして子供の作りやすい環境があり、人口減少また少子高齢化が進まない社会になることを願っています。

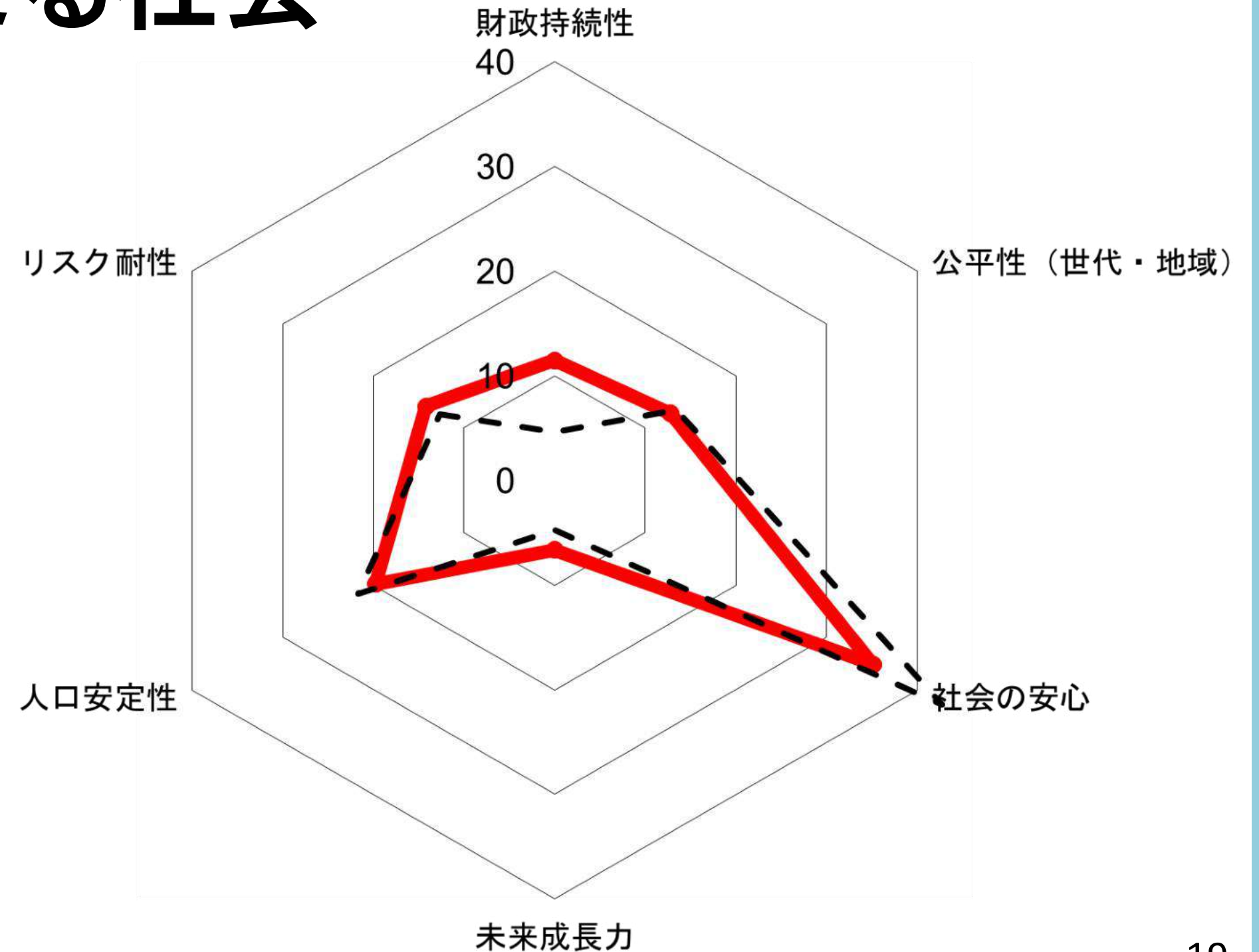
# 国の「経済」という根本的な問題から立て直し、 国の財政にゆとりがでる社会



■ 税金など ■ 公債金



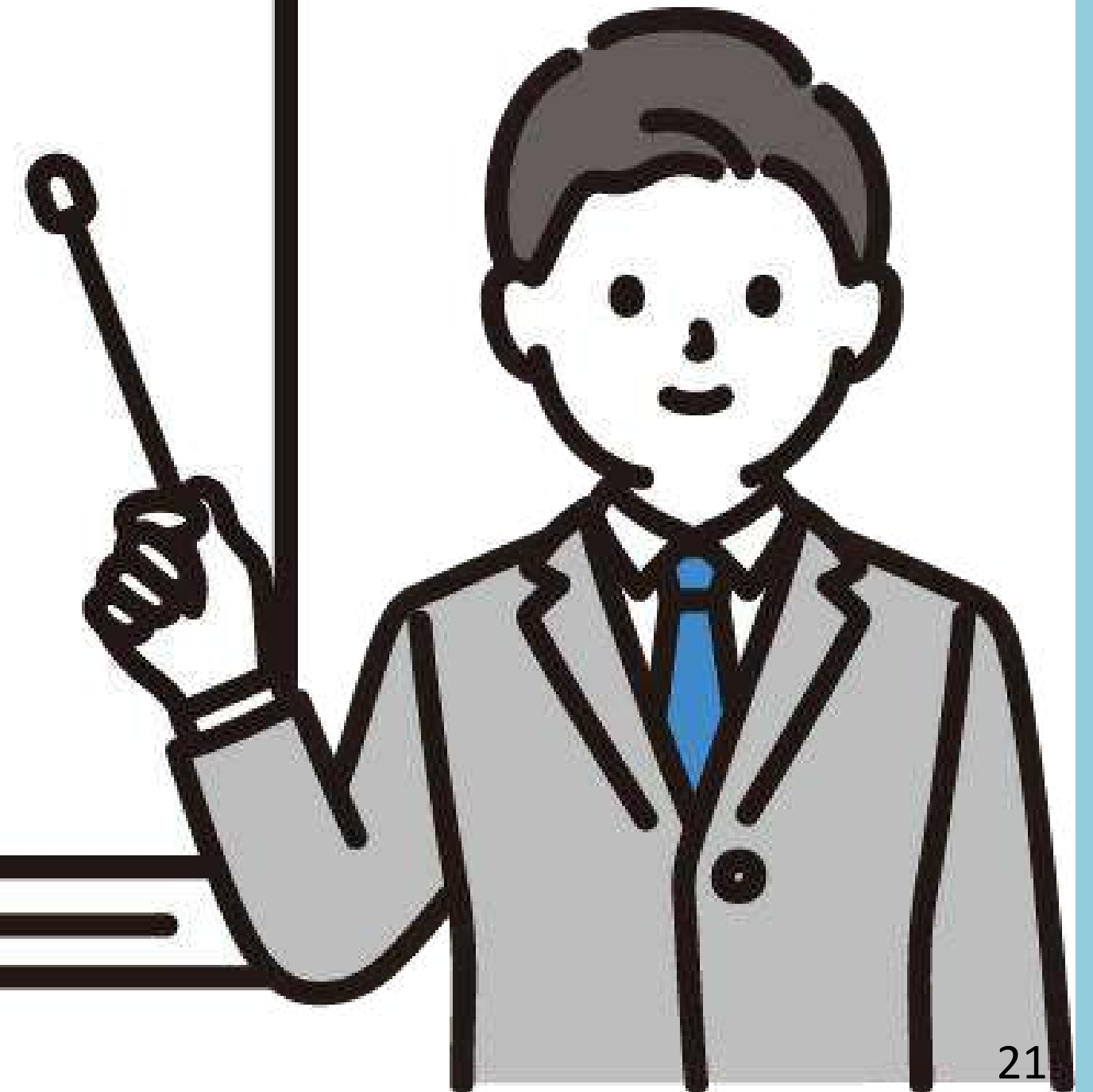
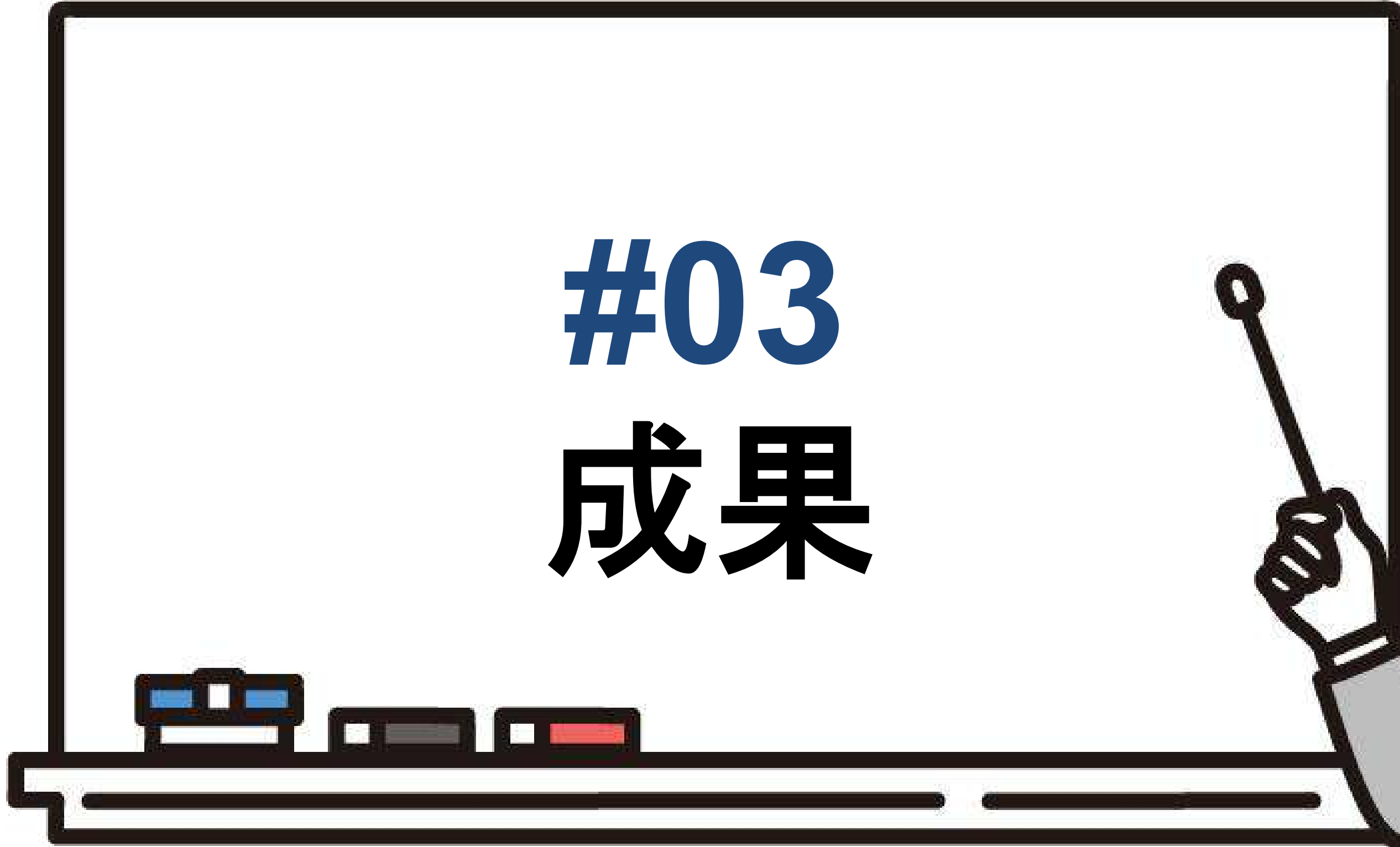
■ 社会保障関係費  
■ 地方交付税交付金  
■ 防衛関係費  
■ 公共事業関係費  
■ 文教および科学振興費  
■ 国債費



# 国の「経済」という根本的な問題から立て直し、 国の財政にゆとりがでる社会

今予想されているような未来のすがたではなく、現在よりも豊かで、経済も順調であり、人々が将来に希望を持てるような社会であることを願っています。一方で、私が考えた歳出は、防衛費を大きく削っています。今、各地で戦争が増加し、世界情勢は不安定です。そんな中、防衛費を削ってしまっても本当に良いのかという不安もあります。今後、その不安定な情勢を明るい方向に持っていけるような人材を世界に送り出すために、文教及び科学振興費を増やしました。また、歴史的にみても、経済が不安定になれば、世界情勢も不安定になります。世界を良い方向に持ってくため、日本がリードしていけるような社会になっていることを願っています。

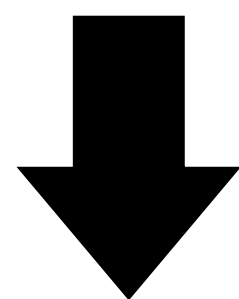
# #03 成果



フューチャーデザイン学習による生徒の変容

社会 = 「与えられた制度を評価する対象」

「自ら関与し設計する対象」



生徒は

「社会的意思決定の一部を担う立場」へ

## フューチャーデザイン学習による生徒の変容

それにより

- ① 将来世代を考慮した記述（思考）が出現
- ② 未来志向の選択肢を選ぶようになる

**社会参画的思考**が萌芽した

# 成果①

## リーダーチャート

認知、判断、行動の変容を促すBXツール

# 生徒の声をカテゴライズ

## 可視化・分かりやすさ

→見やすい／一目で分かる／視覚的 など

## 比較・バランス理解

→現状との比較、優先順位、全体配分の把握

## 思考の整理・深化

→考えが整理される／深まる／客観視できる

## 意思決定・試行錯誤

→数値を変える／選択する／取捨選択

## 社会・未来との接続日本社会・課題・未来への影響理解

→主体性・関与感／自分事化／意欲／楽しさ／タイプ理解



# 第1段階：認知の変化

(分かる・見える)

抽象的だった「財政」「社会」 → 構造化、“**見える対象**”へ

歳出を  
個別の数値調整 → **全体の形として俯瞰した**

# 第2段階：判断の変化

(比較する・バランスを取る)

「この形はよいのか？」

「どこかが大きすぎないか？」という比較・評価が自然に発生

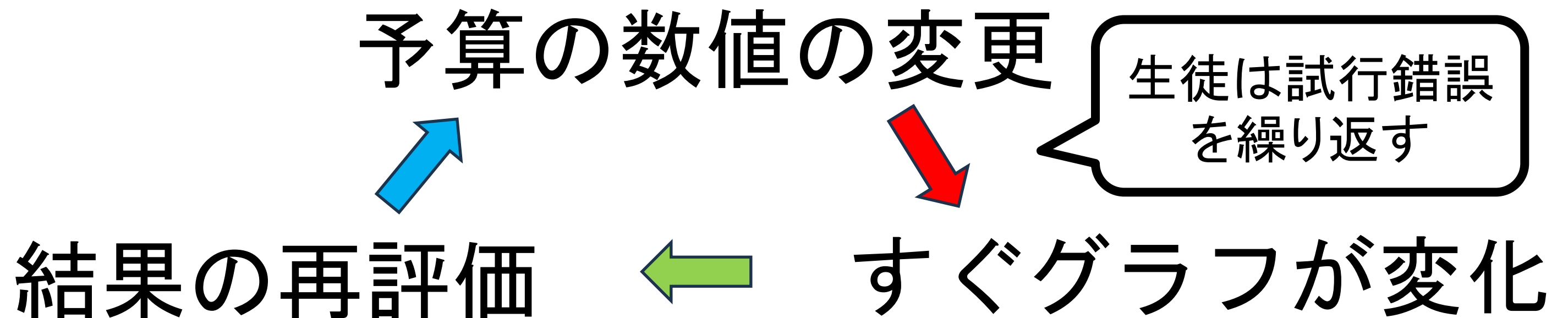
単一項目の善悪判断→**全体の最適を考える判断**へ

感想レベル→**理由づけを伴う判断**へ

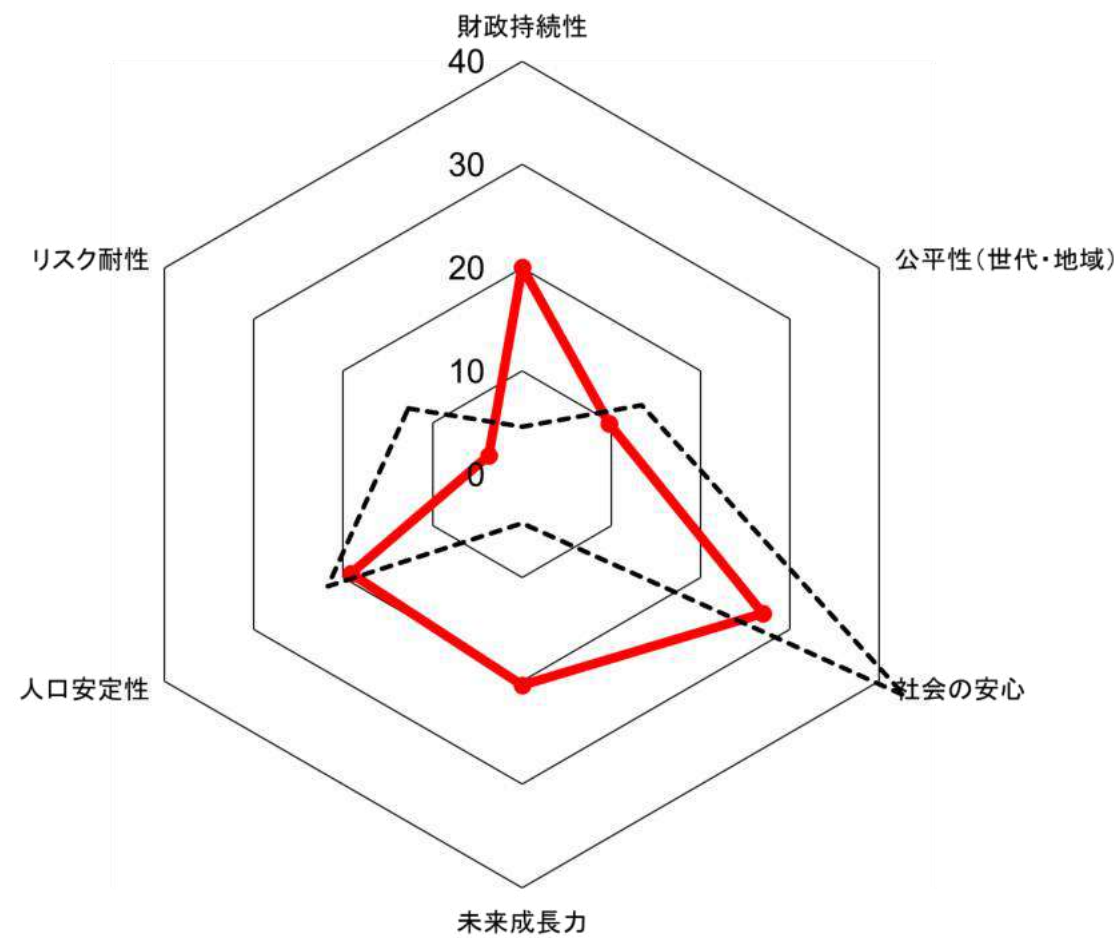
# 第3段階：行動の変化

(選び直す・試行錯誤する)

「このままではよくない」「別の配分の方がよさそう」  
という違和感や仮説が生まれる。



本実践では、レーダーチャートによる可視化を起点として、



認知

見えた・分かった

判断

比べられる・評価する

行動

変えたいくなる

が段階的かつ連続的に変容したと考える。

# レーダーチャートは・・・

認知を変える 「認知装置」

判断を促す 「意思決定インターフェース」

行動を生む 「試行錯誤の場」

レーダーチャートは「財政」「社会」を

「与えられた制度を評価する対象」

「自ら関与し設計する対象」へ変換するツール

# 成果②

消費税に関する問いに表れた、

生徒の**思考**の変化

## 生徒に以下の質問を実践前後で実施

問① 消費税率について、あなたはどのように考えますか。

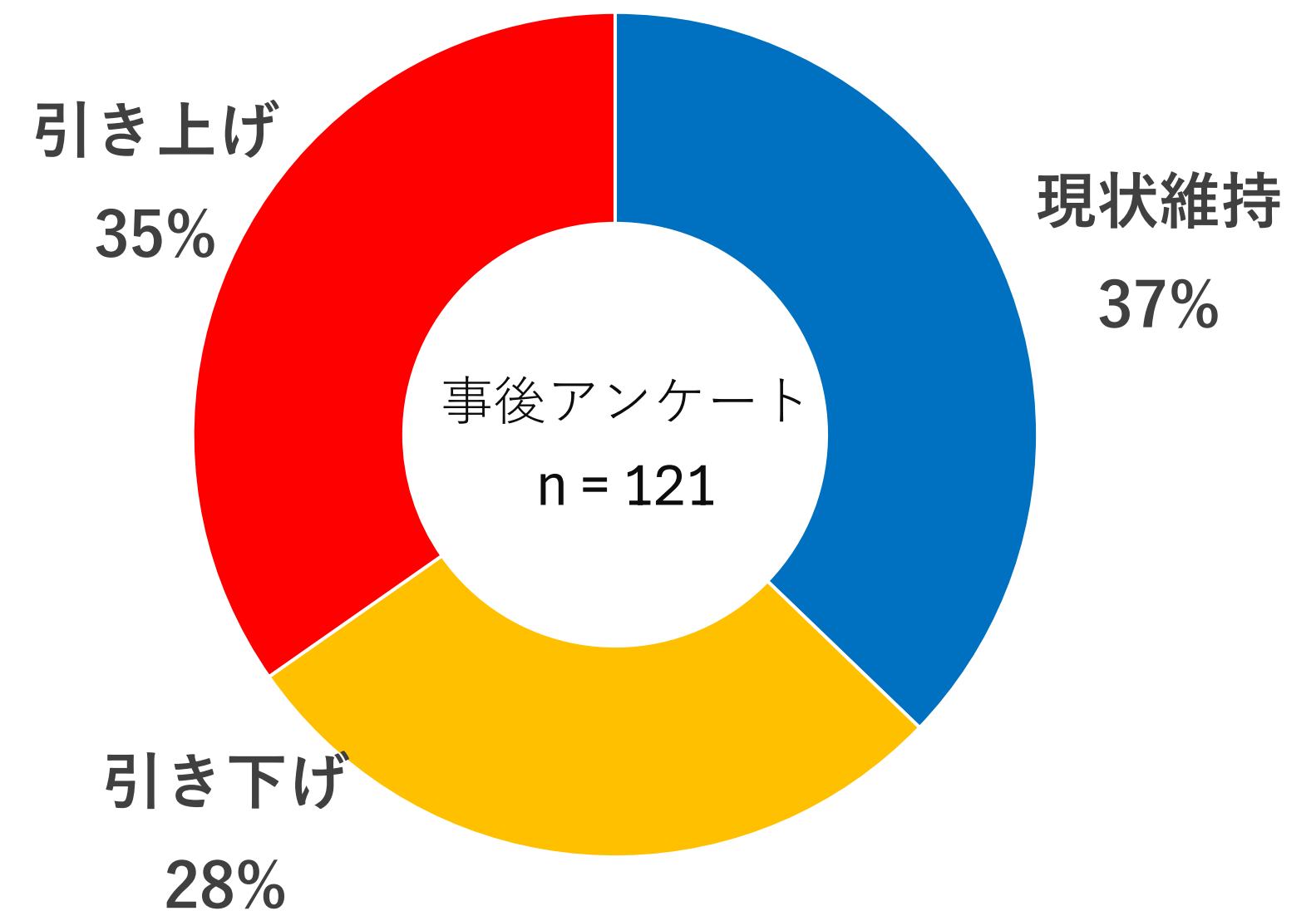
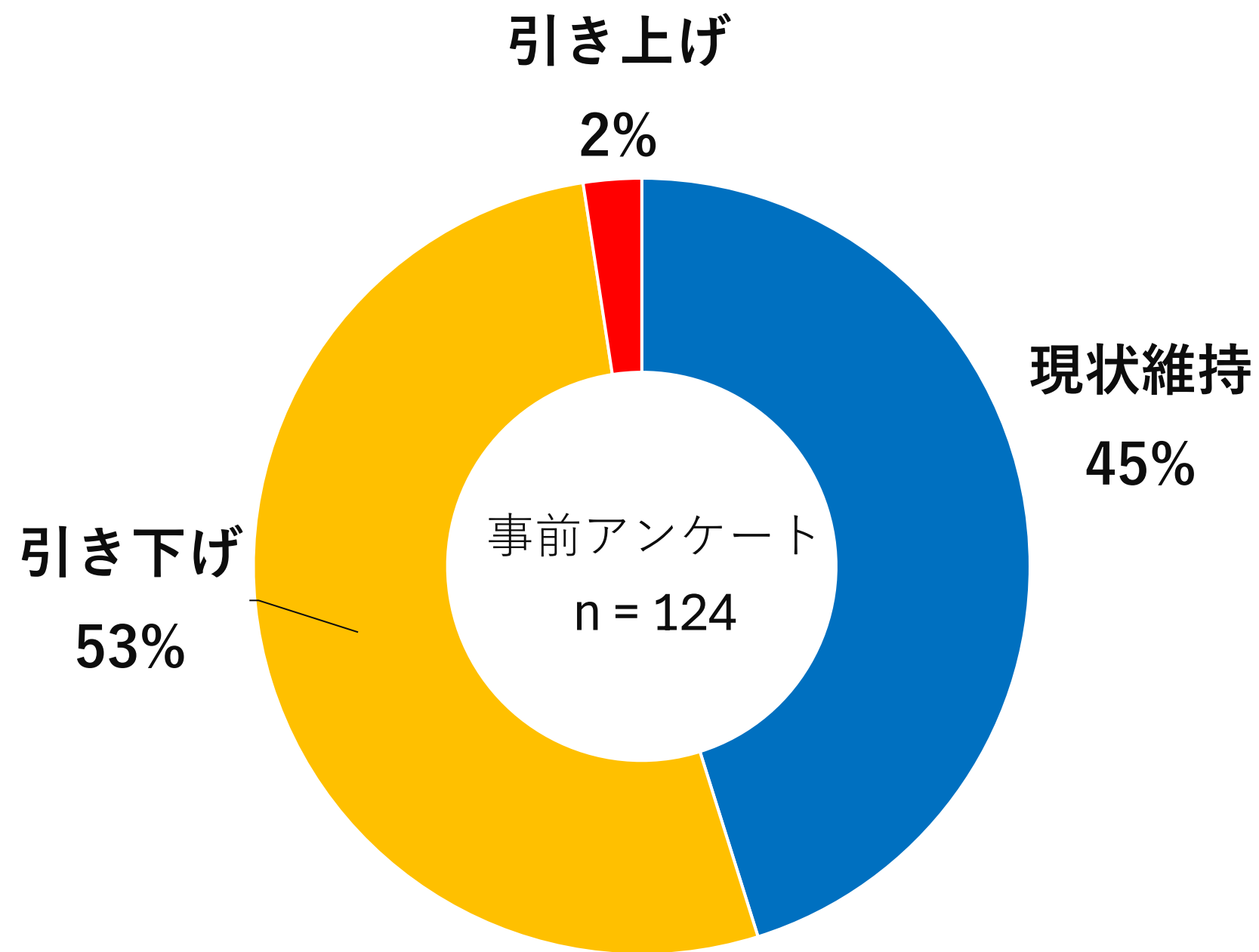
A: 現状維持

B: 消費税を引き下げるべきである

C: 消費税を引き上げるべきである

問② その理由

問① 消費税率について、あなたはどのように考えますか。



## 問② その理由

### 実践前：『**今の生活**』を中心にした記述

「消費税が上がると、買い物が大変になる。」

「今の家計に負担が増えるのはよくないと思う。」

自分・家族  
目の前の負担  
即時的な損得

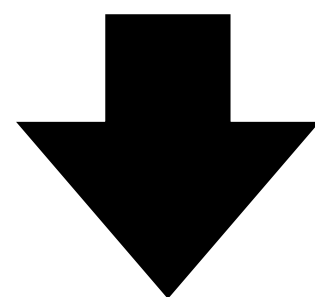
### 実践後：『**未来・将来世代**』を中心にした記述

「本当は未来の政府のためなら消費税率上げるのがいいと思うけれど」

「消費税を下げてしまうと、今の国民は楽かもしれないけれど、未来に借金を先送りしてしまうことになる」

将来世代  
制度の持続性

「今の負担」「目の前の損得」中心



「未来や将来世代を含めた社会全体」

消費税率の自由記述から「未来視点」の記述が出現

# 成果③

アンケートに表れた、

生徒の**選択**の変化

## 本実践で用いた質問(選択肢 A B C)

Q1:国のお金の使い方として、あなたの考えに一番近いのはどれですか。

Q2:国のお金が足りなくなったときの考えとして、近いのはどれですか。

Q3:国のお金の使い方について、あなたの考えはどれに近いですか。

Q4:国の政策を決めるとき、あなたの考えに一番近いのはどれですか。

Q5:もしあなたが、国の未来のために何かを決めなければならないとしたら、考えに近いのはどれですか。

Q6:あなたが目指したい社会に一番近いのはどれですか。

## 本実践で用いたアンケート「選択肢」の意味づけ

### A: 今のくらし重視

今の人が困らないことを優先。未来のことは、その時の人が考えればよい

### B: 今と未来のバランス

今のくらしも、未来のくらしも大切大きな負担は避けたい

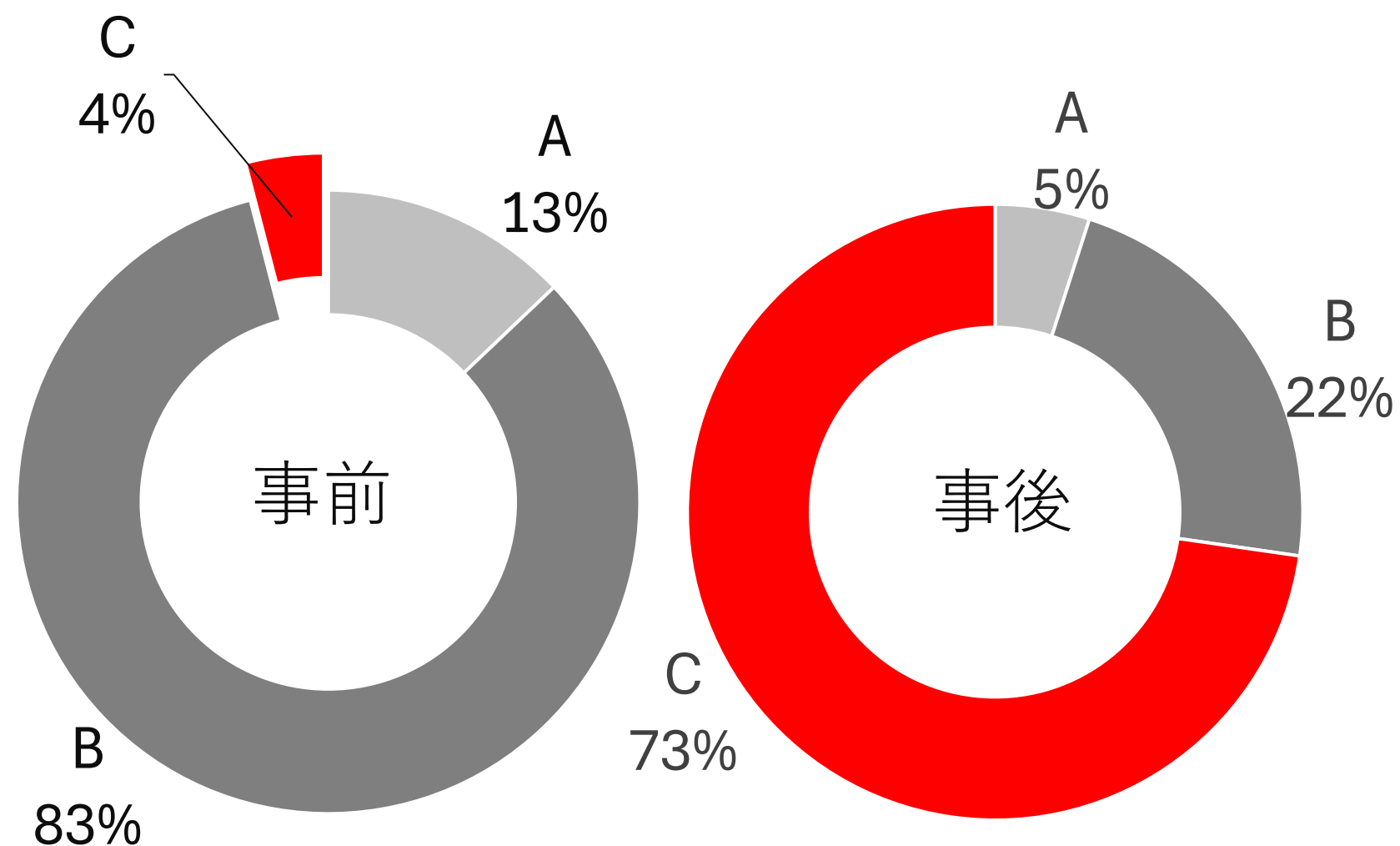
### C: 未来世代重視

今は少し大変でも、未来の人が困らないことを優先。  
将来のツケを残さない選択

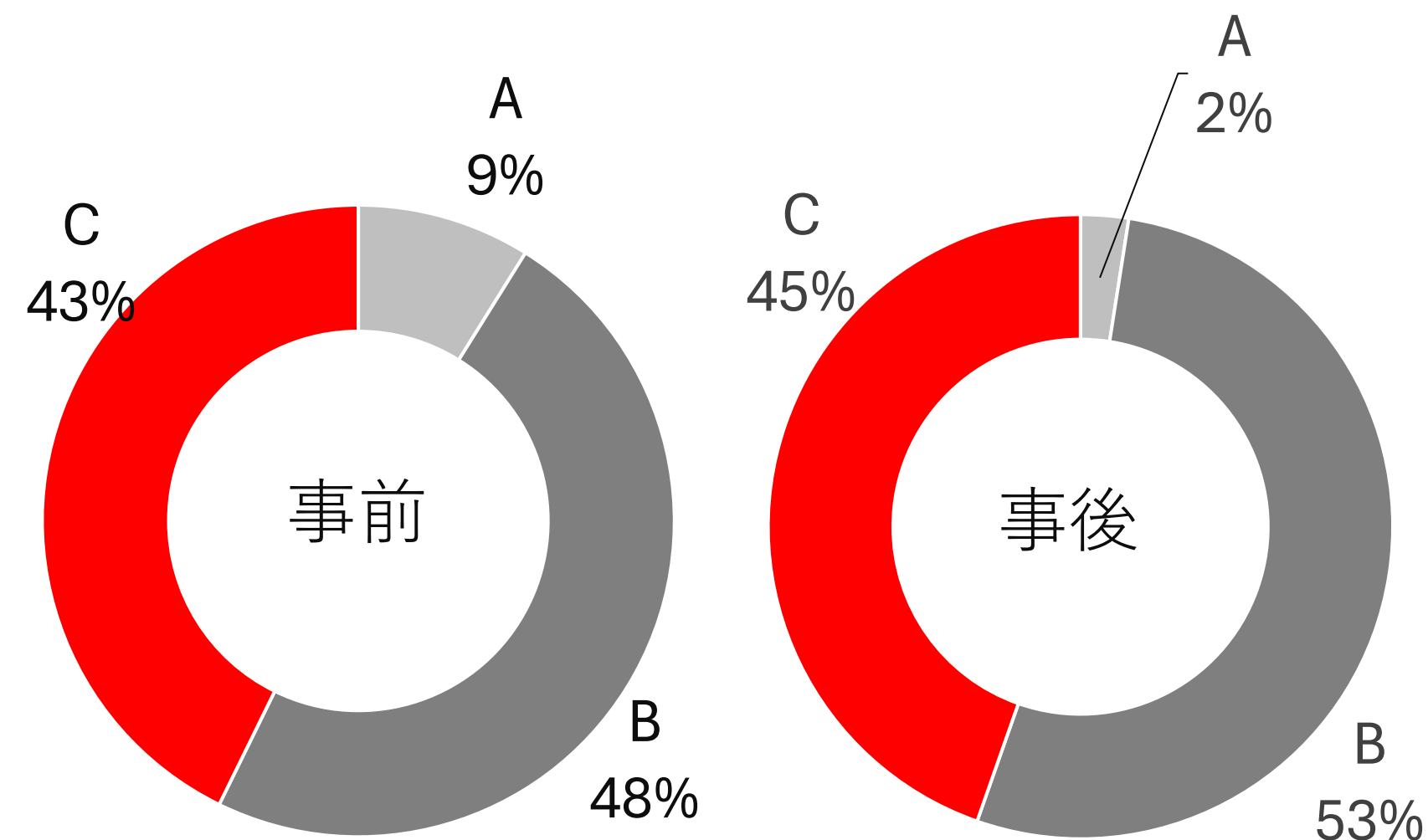
# #03 成果

## アンケートに表れた生徒の選択の変化

Q1 :国のお金の使い方として、あなたの考えに一番近いのはどれですか。

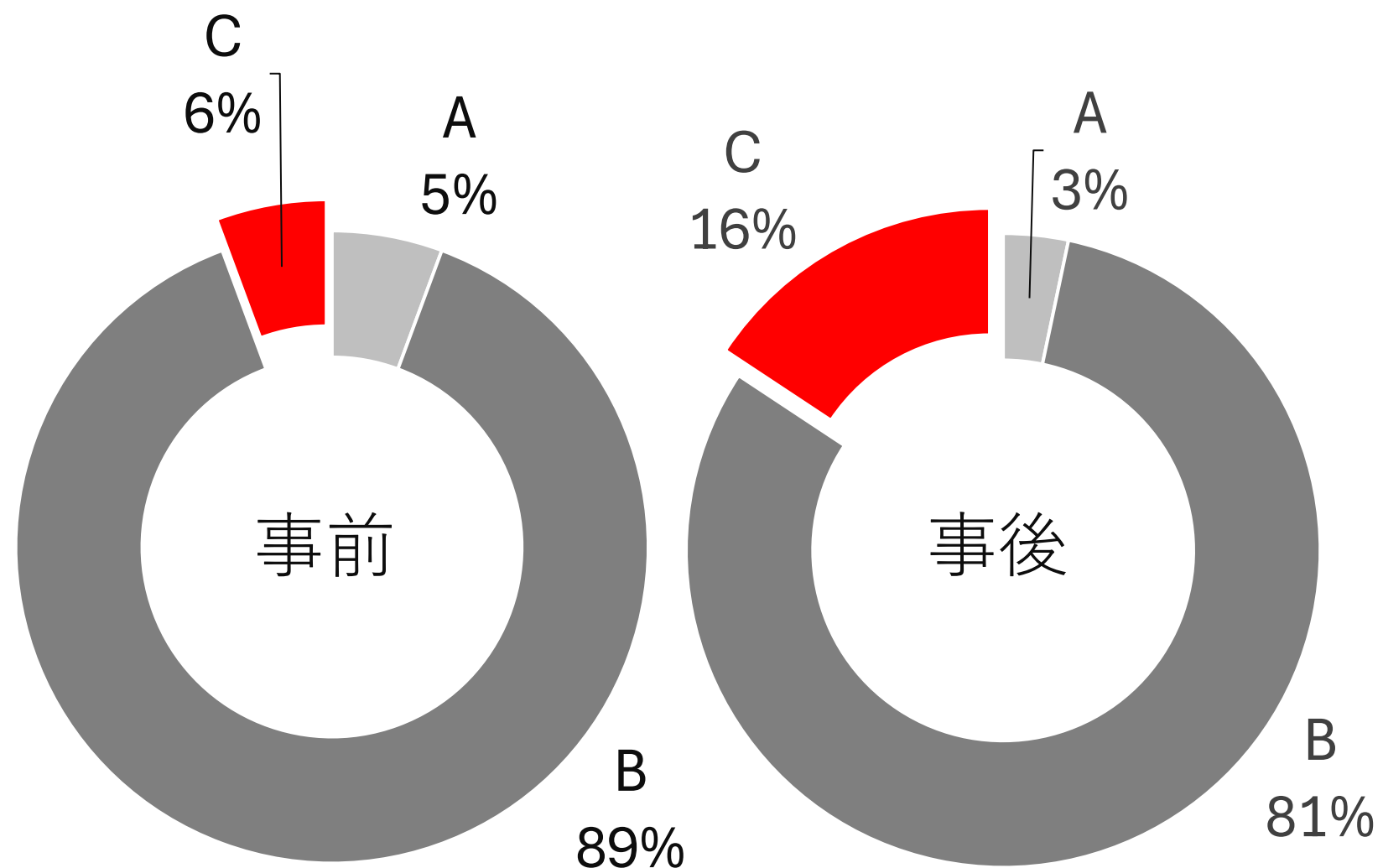


Q2 :国のお金が足りなくなったときの考えとして、近いのはどれですか。

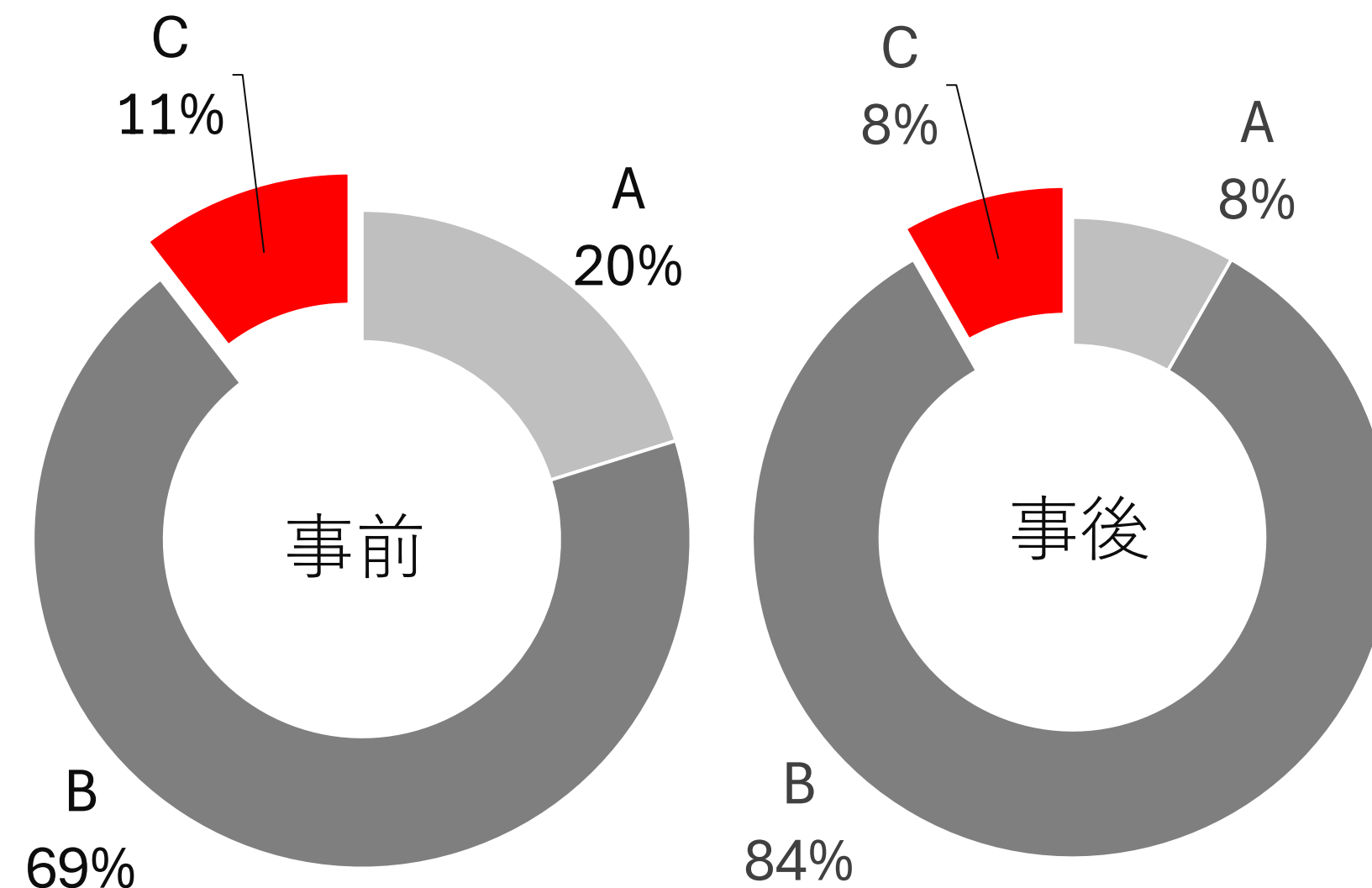


## アンケートに表れた生徒の選択の変化

Q3 :国のお金の使い方について、あなたの考えはどれに近いですか。



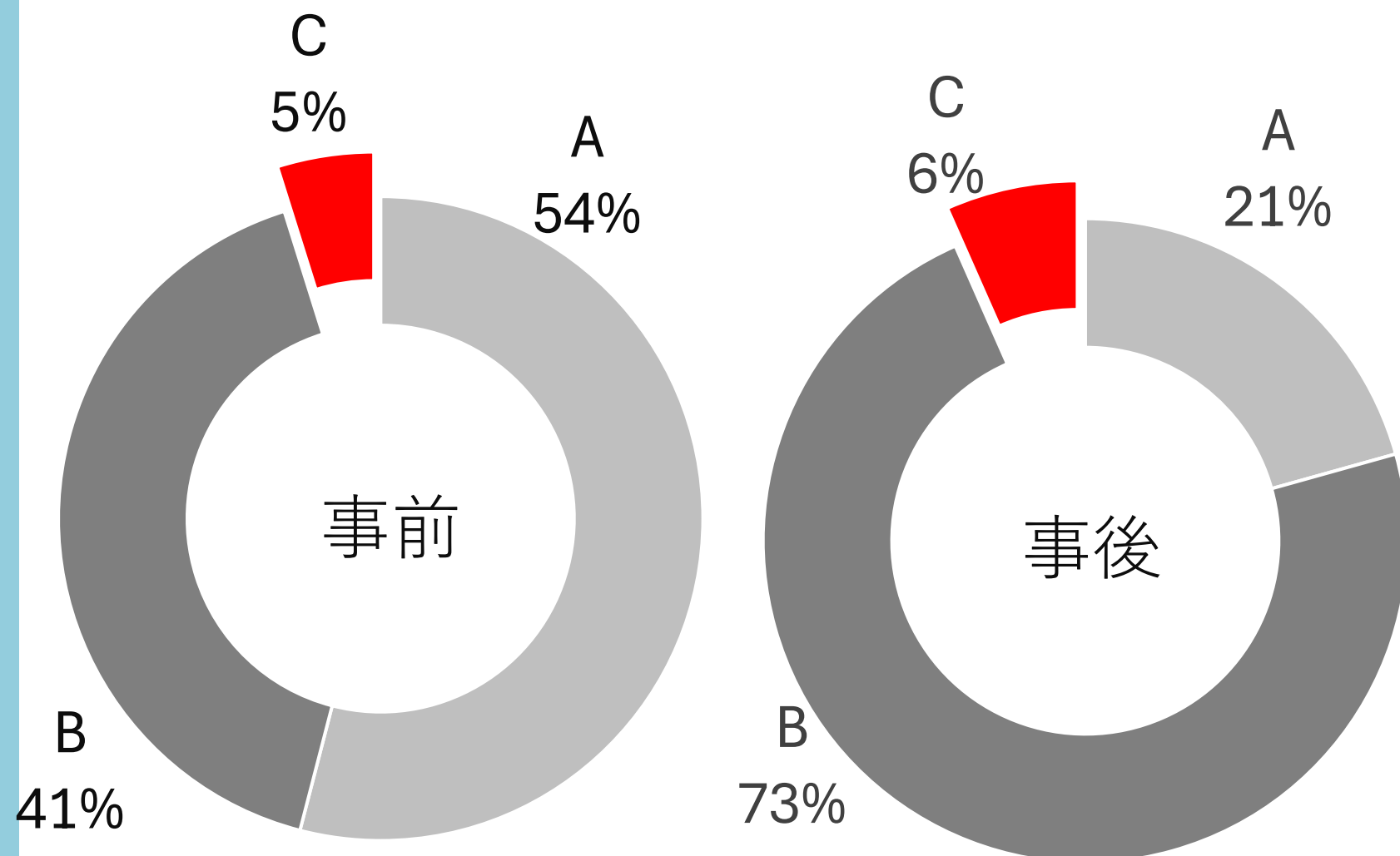
Q4 :国の政策を決めるとき、あなたの考えに一番近いのはどれですか。



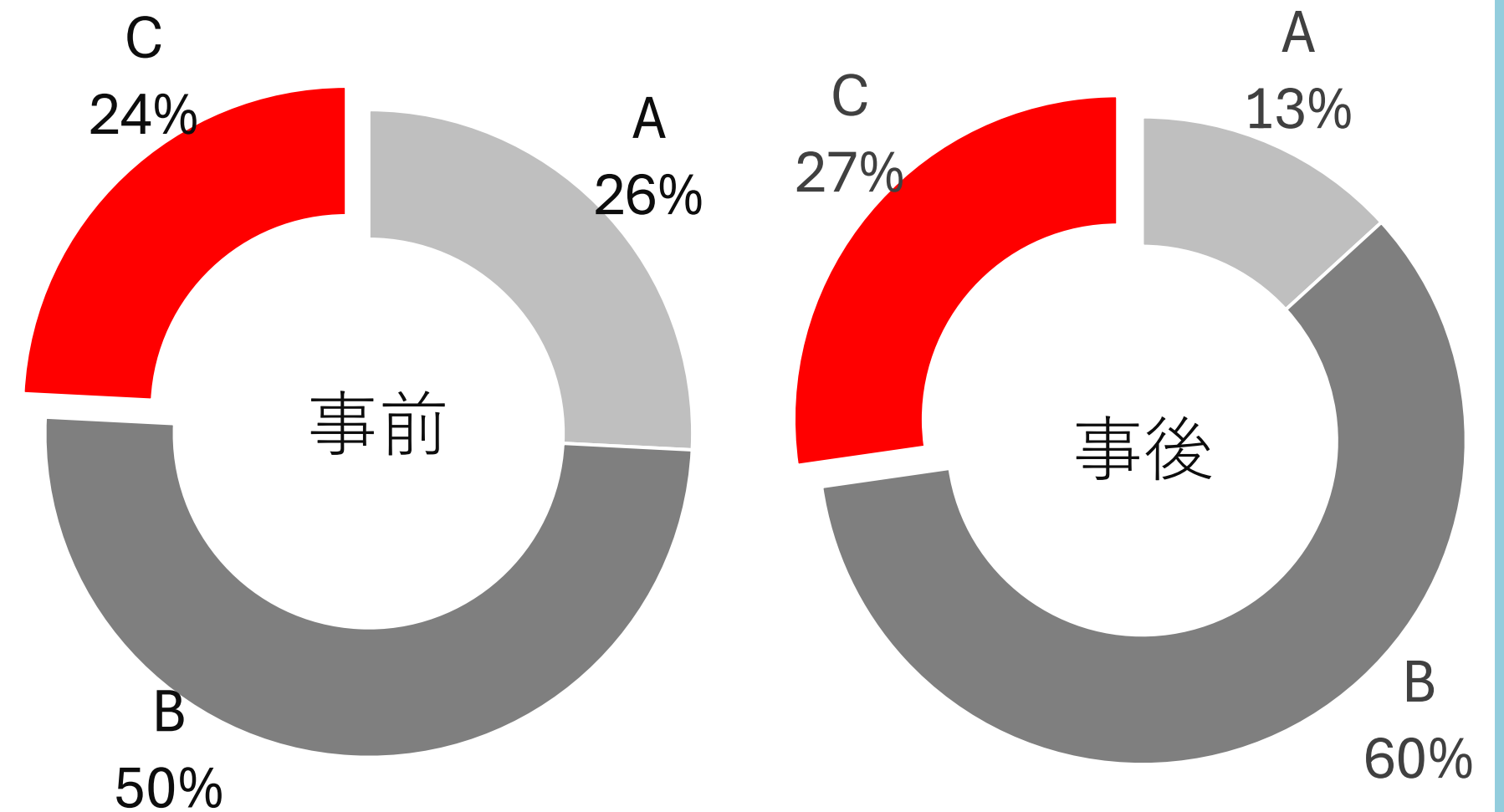
### #03 成果

## アンケートに表れた生徒の選択の変化

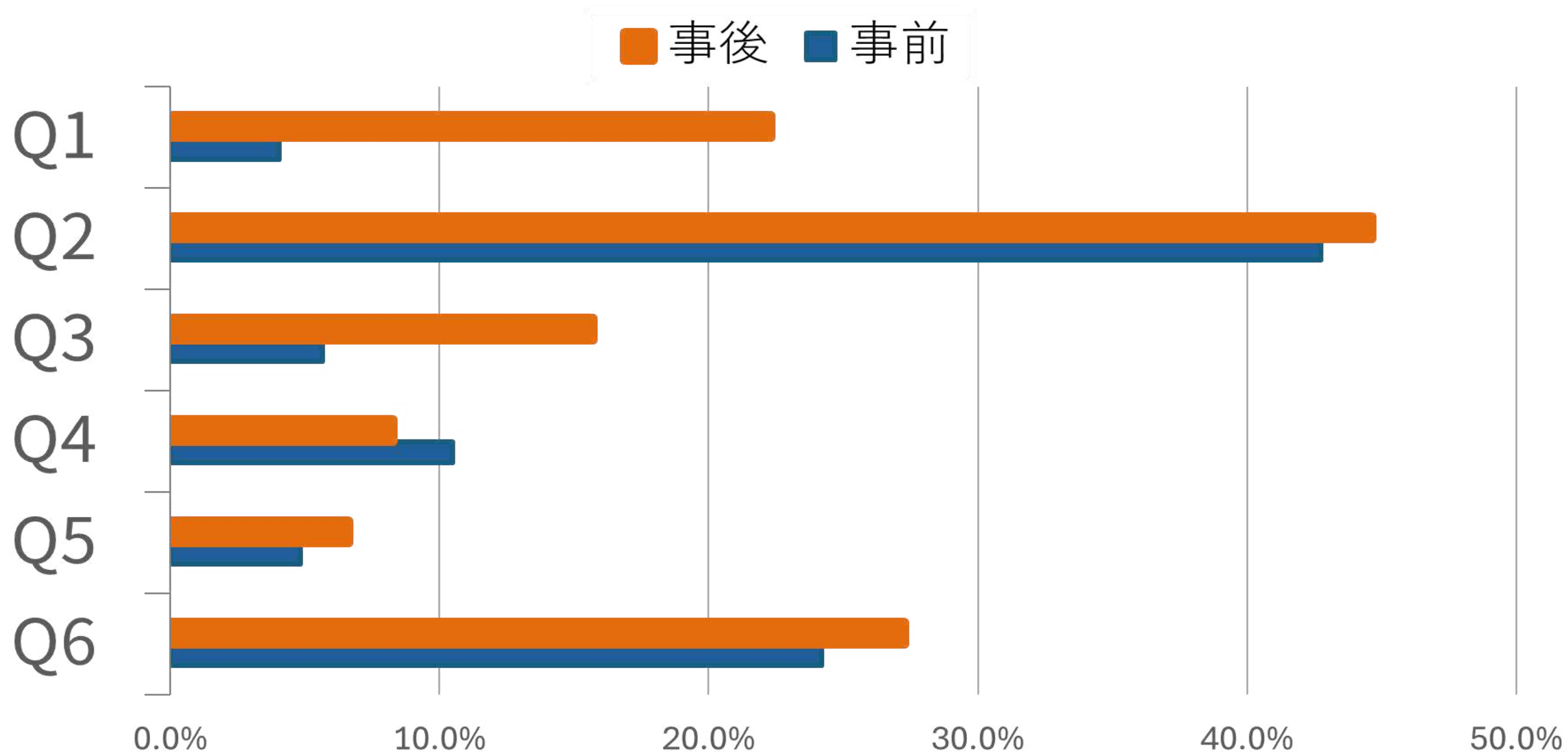
Q5 :もしあなたが、国の未来のために何かを決めなければならないとしたら、考えに近いのはどれですか。



Q6 :あなたが目指したい社会に一番近いのはどれですか。



### 選択肢Cを選んだ生徒の割合変化



**未来世代を考慮した選択が実践後に増加**

今回の実践から生徒は目先の損得ではなく、将来の社会や次の世代への影響を理由にして選択するという

**社会参画的思考**が芽生えた。

# 財政×FD実践によって

## リーダーチャートによって視点の変化

社会を「与えられた制度を評価する対象」👉「自ら関与し設計する対象」へ

生徒が

**社会的意思決定の一部を担う立場**になった

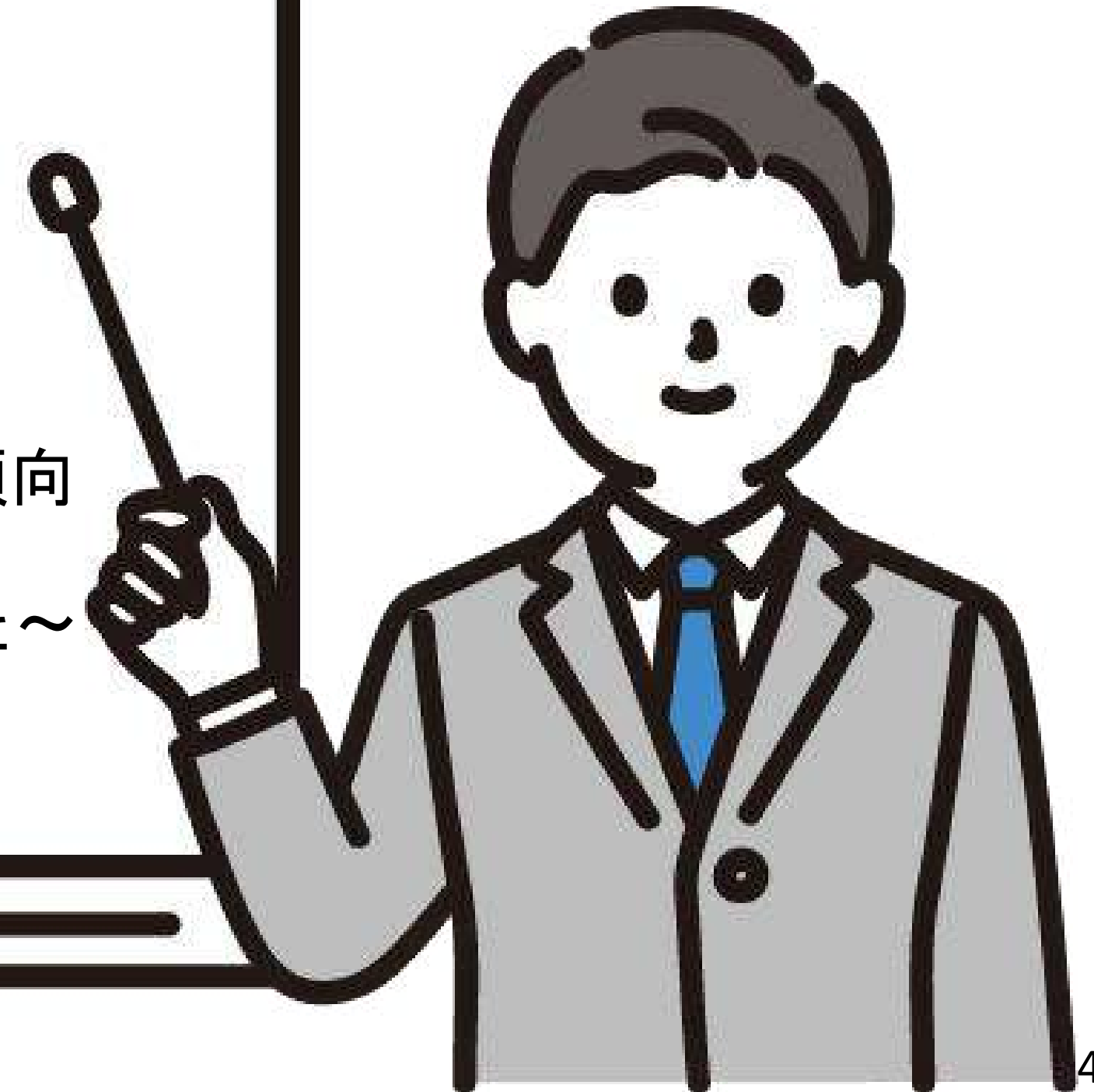
それによって

## 社会参画的思考の芽生え

①将来世代への影響を理由に考える②その理由にもとづいて選択する

# #04 課題

A(現在志向)を選び続けた生徒の理由から見えた傾向  
～未来は描けたが、選択の場面で「今」が優先された～



# 全体像 → 現在の生活の安定を重視する傾向

「今の人の生活が苦しい」

「未来の人のために今不便になるのはできるだけ避けたい」

「今不便なことが多いのに、さらに未来のことを考えるのは難しい」

## 現在バイアス・損失回避が影響

損失回避 → “今の不便”を強く避ける傾向

現在バイアス → “未来より今”を優先する傾向

👉 現在の負担を避ける心理が、A選択の背景として考えられる。

A(現在志向)を選び続けた生徒の理由から見た傾向

# 意思決定の場面 → 現在志向が優位になる傾向

「未来がどうなるかわからないのに今不便になるのは不平等」

「変に社会を変えて悪い方向に行くよりは今の安心を続けたい」

「今生きているのは私だし、苦しい思いをしてまで未来のことは考えたくない」

## 不確実性の回避が強く働いている

「未来はわからない」という不確実性が現在志向を強化。

 **未来の不確実性が、未来志向の選択を妨げている可能性。**

A(現在志向)を選び続けた生徒の理由から見えた傾向

# 未来への配慮を示す記述も一定数確認された

「未来を見て考えることももちろん大切なことと思う。しかし・・・」

「未来も大事だけど・・・」

「今の人も未来の人も不便にならない社会がよい」

## 価値観レベルでは未来志向が形成

長期的な未来への配慮や倫理的視点は育っている。

しかし、意思決定には十分統合されていない。

👉 理念レベルは長期的な未来志向 選択は不確実の回避で現在志向

## 二層構造

A(現在志向)を選び続けた生徒の理由から見えた傾向

## 意思決定：不確実性の回避による現在優位

👉 「未来はわからない」が未来志向を妨げる



ここを接続する  
必要がある

## 理念レベルでは長期的な未来志向

👉 未来への配慮が記述に見られるなど長期的な視点

# どのような仕掛けをしたら接続できるのか？

## 参考文献

- ・キャス・サンスティーン、ルチア・ライシュ(2020).『データで見る行動経済学 全世界大規模調査で見えてきた「ナッジの真実」』.日経BP
- ・リチャード・セイラー、キャス・サンスティーン(2022).『NUDGE 実践行動経済学 完全版』.日経BP
- ・橋本之克(2023).『行動経済学の超基本』.朝日新聞出版
- ・國分俊史、伊原克将、伊藤言、EYストラテジー・アンド・コンサルティング(2023).『BXストラテジー実践行動経済学2.0』.日経BP
- ・相良奈美香(2023).『行動経済学が最強の学問である』.SBクリエイティブ
- ・大竹文雄(2024).『いますぐできる 実践行動経済学—ナッジを使ってよりよい意思決定を実現—』.東京書籍
- ・財務省「より良い未来のために、今できることを考えよう」財務省ホームページ  
[https://www.mof.go.jp/policy/budget/fiscal\\_condition/related\\_data/202503\\_fd.pdf](https://www.mof.go.jp/policy/budget/fiscal_condition/related_data/202503_fd.pdf) (2025.12.10)
- ・財務省「【財政学習教材】日本の「財政」を考えよう」財務省ホームページ  
[https://www.mof.go.jp/policy/budget/fiscal\\_condition/related\\_data/202504\\_zaisei.pdf](https://www.mof.go.jp/policy/budget/fiscal_condition/related_data/202504_zaisei.pdf) (2025.12.10)
- ・財務省「これからの日本のために財政を考える」財務省ホームページ  
[https://www.mof.go.jp/policy/budget/fiscal\\_condition/related\\_data/202510\\_kanryaku.pdf](https://www.mof.go.jp/policy/budget/fiscal_condition/related_data/202510_kanryaku.pdf) (2025.12.10)
- ・中川善典(2024)「フューチャーデザイン実践のために」総合地球環境学研究所 <https://chikyu.repo.nii.ac.jp/records/2000037>
- ・Hofstede insight「異文化理解のフレームワーク「ホフステードの6次元モデル」(4)不確実な未知の出来事に対する対処法:不確実の回避」Hofstede insight HP [https://Hofstede.jp/6dimensionsmodel\\_uai/](https://Hofstede.jp/6dimensionsmodel_uai/) (2026.2.18)
- ・The Culture Factor「国別比較ツール」The Culture FactorHP <https://www.theculturefactor.com/country-comparison-tool?countries=japan> (2026.2.18)

**ご清聴ありがとうございました**

**ございました。**